

8. 社会との連携

防災研究所は、災害に関する研究と教育の面で、国内はもちろん世界的にも中核的機関としての役割を担っている。このために、災害分野の学術振興に貢献するとともに、学協会活動を通して研究、教育の発展に尽力している。

同時に、防災研究所は、社会との連携を特に強く求められている。これは、防災研究者自身が災害の監視と予知・予報の機能も果たしていることによる。災害の監視と予知・予報は気象庁など国の機関の所掌業務であるが、歴史的な経緯もあって防災研究所もその一翼を担っている。また、自治体は、防災関連の事業や災害発生時の対応について、その決定の裏付けとなる科学的な知見を得るための研究機関をもたない。このため、防災研究所への期待は大きい。

このように、防災研究所の役割は国や自治体の行政面とも深く結びついている。

この章では、国、自治体をはじめ、法人、企業との連携の状況をまとめた。

8.1 学術振興活動

表 8.1.1 は、防災研究所職員の学術振興活動をまとめたものである。科学技術会議や学術審議会での学術振興の大枠の決定に、専門委員として参画している。また、文部科学省、日本学術振興会の各種委員として、自然災害を中心とした研究分野とその周辺の基礎研究分野の学術振興に予算配分の面で関わっている。日本学術会議においても、これらの分野の研究実績を踏まえて、研究の指針と計画立案にあたっている。また、ユネスコとの関連も深い。

表 8.1.1 学術振興活動

氏名	委員会名	嘱託期間
岡田憲夫	日本学術振興会・科学研究費委員会・専門委員	平成12年1月～12月
岡田憲夫	社会環境工学研究連絡委員会	平成12年11月1日～15年10月20日
鈴木祥之	日本学術振興会・制震(振)構造技術委員会	平成6年～現在
鈴木祥之	建設省近畿地方建設局・防災環境技術研究会	平成9年～現在
入倉孝次郎	日本学術会議	平成12年7月22日～15年7月21日
入倉孝次郎	文部科学省・科学技術学術審議会・臨時委員	平成13年4月23日～15年1月31日
入倉孝次郎	大学評価学位授与機構・理学系研究評価専門委員会	平成12年10月31日～14年10月30日
入倉孝次郎	経済産業省・原子力安全委員会	平成13年1月6日～16年1月5日
入倉孝次郎	内閣府・中央防災会議	平成13年3月14日～15年3月13日
佐藤忠信	日本学術振興会・特別研究員等審査会・審査員	
佐藤忠信	文部科学省・科学技術振興調整費・研究推進委員会・委員	
中島正愛	日本学術会議・第18期地震工学専門委員会・委員	平成12～14年
中島正愛	日本学術振興会・平成14年度科学研究費補助金第一段階審査・審査員	平成14年
岩田知孝	日本学術会議メカニクス構造研究連絡委員会・地震工学専門委員会・地震動小委員会・委員	平成12、13年度
岩田知孝	文部科学省・地震調査推進本部・強震動評価部会・強震動予測手法検討分科会・委員	平成12、13年度
嘉門雅史	科学研究費委員会	平成13年
千木良雅弘	日本学術振興会・特別研究員等審査会・専門委員	平成12年8月1日～14年7月31日
佐々恭二	日本学術会議・国際学術協力事業研究連絡委員会・国際地質対比計画(IGCP)専門委員会・委員	
佐々恭二	日本学術会議・森林工学研究連絡委員会・委員(第18期)	平成12年～現在
高橋 保	科学技術会議・研究調査小委員会・委員	平成5年～
高橋 保	科学技術動向研究センター・専門委員	平成13年度

氏名	委員会名	嘱託期間
寶 馨	文部科学省・学術国際局・日本ユネスコ国内委員会・自然科学小委員会・調査委員(国際水文学計画(IHP)担当)	平成9年6月1日～現在
寶 馨	ユネスコ国際水文学計画(IHP)東南アジア太平洋地域運営委員会・事務局長	平成11年10月20日～現在
岩嶋樹也	日本学術振興会・科学研究費委員会・専門委員	平成12年1月～13年12月
岩嶋樹也	科学技術庁・科学技術会議政策委員会・研究評価小委員会・専門員	平成9年6月～平成13年3月
植田洋匡	日本学術会議・社会環境工学研究連絡委員会	平成9年～現在
植田洋匡	日本学術振興会・審査会専門委員会	平成11年～現在
植田洋匡	九州大学応用学研究所・共同利用委員会	平成9年～現在
植田洋匡	日本原子力研究所・研究業績評価委員会	平成11年～現在
植田洋匡	日本原子力研究所 博士研究員 研究業績評価委員会	平成11年～現在
関口秀雄	日本学術会議・メカニクス構造研究連絡委員会・レオロジー専門委員会・委員	平成12年度～現在
橋本 学	測地学研究連絡委員会地殻変動・海水準小委員会	平成13年度～現在
梅田康弘	国土地理院・地震予知連絡会・委員	
梅田康弘	東京大学地震研究所・地震予知研究協議会・委員	
梅田康弘	地震調査研究推進本部・データ流通WG	平成10年～
梅田康弘	日本学術会議・地震学研究連絡委員会	
梅田康弘	文部科学省・測地分科会・科学技術学術審議会・専門委員	
梅田康弘	陸上自衛隊・中部方面隊オピニオンリーダー	
MORI James Jiro	文部科学省・地震調査研究推進本部地震調査委員会	平成12～14年度
MORI James Jiro	文部科学省・地震調査研究推進本部・地震調査委員会・強震動評価部会	平成12～14年度
大志万直人	日本学術会議・地球電磁気学研究連絡委員会・地磁気観測小委員会(第17期)	平成11～12年度
大志万直人	日本学術会議・地球電磁気学研究連絡委員会・地磁気観測小委員会(第18期)	平成13～14年度
古澤 保	日本学術会議・測地学研究連絡委員会地殻変動・海水準小委員会(第18期)	平成13年～現在
石原和弘	文部科学省・科学技術/学術審議会・専門委員会	平成13年1月～15年1月
石原和弘	日本学術会議・火山学研究連絡委員会	平成7年～15年
池淵周一	文部省・学術国際局・測地学審議会・委員	平成12年2月1日～14年1月31日
池淵周一	文部科学省・学術国際局・日本ユネスコ国内委員会・自然科学小委員会・調査委員	平成12年4月1日～14年3月31日
池淵周一	国立極地研究所・評議員	平成13年9月13日～15年3月31日
池淵周一	科学技術振興事業団・領域アドバイザー	平成13年9月29日～15年9月28日
池淵周一	東京大学地震研究所協議会・協議員	平成13年11月15日～15年11月14日
岡 太郎	科学研究費委員会・専門委員	平成14年1月1日～12月31日
小尻利治	日本学術会議・社会環境工学研究連絡委員会・委員	平成13～15年
小尻利治	日本学術会議・水資源専門委員会・委員	平成11年1月1日～13年12月31日
小尻利治	日本学術振興会・科学研究費委員会・専門委員	平成13年1月1日～14年12月31日
河田恵昭	日本学術会議・社会環境工学研究連絡委員会	平成12年11月20日～15年10月20日
河田恵昭	文部科学省・アジア、太平洋地域に適した地震、津波災害軽減技術の開発とその体系化に関する準備の推進委員会	平成13年4月25日～14年3月31日
河田恵昭	文部科学省・科学技術/学術審議会・専門委員会	平成13年6月25日～15年1月31日

氏名	委員会名	嘱託期間
林 春男	科学技術庁・構造物の破壊過程解明に基づく生活基盤の地震防災性向上に関する研究推進委員会	平成11年8月5～14年3月31日
林 春男	文部科学省・科学技術/学術審議会・専門委員会	平成13年6月25～15年1月31日

表8.1.2に国際学術活動、表8.1.3に国内学術活動についてまとめた。国内外において多岐にわたる活動に参加していることがわかる。研究代表者やグル

ープリダーとして、活動のマネジメントする立場からの関与が多く見られる。

表8.1.2 国際学術活動

氏名	学術研究活動名	実施機関名	役割	期間
岡田憲夫	科学技術振興調整費総合研究「アジア・太平洋地域に適した地震・津波災害軽減技術の開発とその体系化に関する研究」(EQTAP)	科学技術庁 (現文部科学省)		平成11～15年
鈴木祥之	科学技術振興調整費総合研究「アジア・太平洋地域に適した地震・津波災害軽減技術の開発とその体系化に関する研究」(EQTAP)	科学技術庁 (現文部科学省)	分担	平成11～13年度
清水康生	科学技術振興調整費総合研究「アジア・太平洋地域に適した地震・津波災害軽減技術の開発とその体系化に関する研究」(EQTAP)	科学技術庁 (現文部科学省)	第二研究 分科会	平成12～14年度
入倉孝次郎	日米共同研究による都市地震災害の軽減プロジェクト	National Science Foundation(米国)・ 京都大学防災研究所	評価委員	平成10～15年
入倉孝次郎	IASPEI/IAEE Joint Working Group on The Effects of Surface Geology on Seismic Motion	IASPEI/IAEE	Board Member	期間は特になし
入倉孝次郎	ユーロテストサイトプロジェクト	テサロニキ大学 (ギリシャ)・ 京都大学防災研究所	Board Member	期間は特になし
中島正愛	Structural Stability Research Council Task Group 24 - Stability Under Seismic Loading	Structural Stability Research council	委員	平成12年～現在
中島正愛	International Seismic Steel Joint Action Group	American Institute of Steel Construction	委員	平成12年～現在
中島正愛	International Activities Committee	Earthquake Engineering Research Institute	委員	平成13年～現在
中島正愛	CIB-TC44: Evaluation of Buildings with Response Control Devices	CIB	委員	平成13年～現在
中島正愛	Common Advisory Board of Network for Earthquake Engineering Simulation	National Science Foundation	委員	平成13年～現在
澤田純男	国際学術研究・都市地震リスクのマネジメントを目的とした高性能社会基盤整備戦略に関する研究		分担	平成10年
嘉門雅史	International Technical Committee 5 Sub-Committee 7	International Society on Soil Mechanics and Geotechnical Engineering	委員長	継続中
三村 衛	Evaluation of the reclaimed land with stiff clay lump	国立 シンガポール大学	技術アド バイザー	平成12～13年

氏名	学術研究活動名	実施機関名	役割	期間
佐々恭二	中国西安市華清池の地すべり災害予測の研究	京都大学防災研究所・ 西安市建設委員会	研究 リーダー	平成3～6年、 平成6～11年、 平成11～16年
佐々恭二	UNESCO/IUGS International Geological Correlation Programme (IGCP) No.425: Landslide Hazard Assessment and Mitigation for Cultural Heritage Sites and Other Locations of High Societal Value	UNESCO&IUGS	計画 代表者	平成10～14年
佐々恭二	Memorandum of Understanding between the United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO) and the Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Japan concerning cooperation in research for landslide risk mitigation and protection of the cultural and natural heritage as a key contribution to environmental protection and sustainable development in the first quarter of the twenty-first century	UNESCO&DPRI-KU	研究 代表者	平成11～17年
佐々恭二	科学技術振興調整費総合研究「アジア・太平洋地域に適した地震・津波災害軽減技術の開発とその体系化に関する研究」の「地盤災害の抑止技術の開発」	京都大学防災研究所・ 西安市建設委員会	副計画 代表者	平成11～15年
佐々恭二	International Newsletter “Landslide News (ISSN0919-5629)” & Network for Landslide News, Chairman, 1992～		委員長	平成4年～
佐々恭二	Working Group on Landslides of the International Union of Geological Sciences(IUGS), Sub-Committee for the Prediction of Rapid Landslide Motion (IUGS/WGL/RLM)	IUGS	委員長	平成4～12年
佐々恭二	Division 8 “Forest Environment” of the International Union of the Forestry Research Organizations (IUFRO/D8)	IUFRO	コーディネーター	平成8～12年
佐々恭二	Technical Committee on Landslides of the International Society for Soil Mechanics and Geotechnical Engineering(ISSMGE/TC-11)	ISSMGE	委員長 (共同)	平成10年～
佐々恭二	Asian Regional Technical Committee on the Protection of Cultural Heritage from Landslides of the International Society for Soil Mechanics and Geotechnical Engineering(ISSMGE/ATC-9)	ISSMGE	委員長	平成11年～
福岡 浩	中国西安市華清池の地すべり災害予測の研究	京都大学防災研究所・ 西安市建設委員会	研究員	平成3～6年、 平成6～11年、 平成11～16年
福岡 浩	UNESCO/IUGS International Geological Correlation Programme (IGCP) No.425: Landslide Hazard Assessment and Mitigation for Cultural Heritage Sites and Other Locations of High Societal Value	UNESCO&IUGS	事務局長 ・副計画 代表者	平成10～14年

氏名	学術研究活動名	実施機関名	役割	期間
福岡 浩	Memorandum of Understanding between the United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO) and the Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Japan concerning cooperation in research for landslide risk mitigation and protection of the cultural and natural heritage as a key contribution to environmental protection and sustainable development in the first quarter of the twenty-first century	UNESCO & DPRI- KU	研究員	平成 11～17 年
福岡 浩	科学技術振興調整費総合研究「アジア・太平洋地域に適した地震・津波災害軽減技術の開発とその体系化に関する研究」の「地盤災害の抑止技術の開発」	京都大学防災研究所・ 西安市建設委員会	サブプロジェクト 研究員	平成 11～15 年
福岡 浩	International Newsletter “Landslide News (ISSN0919-5629)” & Network for Landslide News		事務局長 ・委員長	平成 4 年～
福岡 浩	Division 8 “Forest Environment” of the International Union of the Forestry Research Organizations (IUFRO/D8)	IUFRO	事務局員	平成 8～12 年
福岡 浩	Asian Regional Technical Committee on the Protection of Cultural Heritage from Landslides of the International Society for Soil Mechanics and Geotechnical Engineering (ISSMGE/ATC-9)	ISSMGE	事務局員	平成 12 年～
竹内篤雄	中国西安市華清池の地すべり災害予測の研究	京都大学防災研究所・ 西安市建設委員会	研究員	平成 3～6 年、 平成 6～11 年、 平成 11～16 年
奥西一夫	九寨溝の防災と環境保全に関する日中共同研究	京都大学防災研究所・ 中国科学院 成都山地 災害環境研究所	日本側 代表者	平成 9 年度～13 年 度
奥西一夫	Assessment of Natural Hazards in Romania and Japan, Research Section of Slope Conservation	Disaster Prevention Research Institute-Kyoto University and the Institute of Geography, Romanian Academy	日本代表	平成 12～14 年度
Roy C. Sidle	A collaborative research project (with CSIRO, Australia) on effects of agroforestry practices in the Sumberjaya watershed, Sumatra on erosion processes and water pathways	ICRAF, Bogor, Indonesia,		平成 14 年
寶 馨	国際水分子学計画	ユネスコ	東南アジ ア太平洋 地域運営 委員会 事務局長	平成 11 年 10 月～ 現在
高山知司	高潮や高波に配慮した海洋構造物の安全判断と振動制御に関する実用システムの開発	日本学術振興会 日中科学協力事業	日本側 研究代表	平成 14 年 4 月 1 日～16 年 12 月 31 日
吉岡 洋	高潮や高波に配慮した海洋構造物の安全判断と振動制御に関する実用システムの開発	日本学術振興会日中 科学協力事業	日本側 研究者	平成 14 年 4 月 1 日～16 年 12 月 31 日
植田洋匡	RAINS-Asia (Phase 2)	世界銀行	研究員	平成 10～12 年
植田洋匡	MICS-Asia	IIASA	研究員	平成 10 年～

氏名	学術研究活動名	実施機関名	役割	期間
中川 一	科学技術振興事業団・戦略的基礎研究推進事業（研究領域：水の循環系モデリングと利用システム）「社会変動と水循環の相互作用評価モデルの構築」（分担：インドネシア・プランタス川流域を対象とする水循環モデルの構築）	京都大学防災研究所	研究分担	平成13～17年度
山下隆男	日本の砂浜海岸の復元：養浜によるソフトビーチ化に関する研究	京都大学防災研究所・米国 Old Dominion 大学との共同研究		平成13年度
山下隆男	日本海沿岸の砂浜海岸の防災と環境保全に関する日韓共同研究	京都大学防災研究所、韓国ソウル大学、成均館大学、関東大学との共同研究		平成13年度
田中賢治	GAME - HUBEX 「陸面過程並びに大気陸面相互作用」	アジア太平洋水文水資源研究協会事務局、名古屋大学地球水循環研究センター		平成8～14年
田中賢治	GAME プロジェクト		GAME 実行委員会 幹事	平成11年4月～
田中賢治	GAME プロジェクト・陸面モデリング WG		GAME 実行委員会 委員	平成14年4月～
岡 太郎	メグナ河長期護岸対策・洪水対策に関する研究	国際協力事業団	研究代表	平成11年4月～14年3月

表 8.1.3 国内学術活動

氏名	学術研究活動名	実施機関	役割	期間
鈴木祥之	未来開拓学術研究推進事業「大地震対応のインテリジェント制震構造の開発」	日本学術振興会	研究分担者	平成10～13年度
多々納祐一	地震防災研究グループ	日本原子力研究所	研究員	平成13年11月1日～15年3月31日
入倉孝次郎	地震災害軽減のための強震動予測マスターモデルプラン	防災研究所	研究代表者	
田中仁史	科学技術振興調整費「第3分科学会構造物要素の耐震性能研究」		班委員	
中島正愛	日米共同研究「高知能建築構造システムの開発」	建築研究所	委員	平成11年～現在
中島正愛	日米共同研究「高知能建築構造システムの開発」スマート補強 WG	建築研究所	主査	平成11年～現在
澤田純男	科学技術振興調整費「地震災害軽減のための強震動予測マスターモデルに関する研究」	京都大学他	研究者	平成11～13年
嘉門雅史		プラスチックボードドレーン研究会	委員長	継続中
佐々恭二	斜面災害研究の推進のためのネットワーク	斜面災害研究推進会議	会長	平成10年～
佐々恭二	自然災害研究の推進のためのネットワーク	自然災害総合研究班	突発災害幹事	平成10年～12
佐々恭二		自然災害研究協議会	議長	平成13年～現在
佐々恭二	科学技術振興調整費（萌芽的研究）「地震豪雨時の高速長距離土砂流動現象の解明」		研究代表者	平成13～15年度
福岡 浩	地すべり情報ネットワーク研究委員会	日本地すべり学会	委員長	平成10～11年度
福岡 浩	世界地すべり情報目録研究委員会	日本地すべり学会	委員長	平成13～14年度

氏名	学術研究活動名	実施機関	役割	期間
福岡 浩	ATC-9：文化遺産の地すべり災害からの保全	国際地盤工学会 (ISSMGE)アジア地域 技術委員会国内委員 会	国内委員、 事務局員	平成11年～
福岡 浩	斜面災害研究の推進のためのネットワーク	斜面災害研究推進会議	幹事	平成10～11年度
Roy C. Sidle	Institute of Geosciences to conduct research on headwater hydrogeomorphology	University of Tsukuba	a 2-month Mombusho Award as Visiting Professor	平成13年7～9月
Roy C. Sidle	a Japanese research team (including DPRI) that will conduct a landslide experiment in a natural environment in Ibaraki	FFPRI, Tsukuba, Japan	招待者	
寶 馨	戦略的基礎研究推進事業(CREST)	科学技術振興事業団	研究 代表者	平成13年12月～ 18年11月
高山知司	高潮や高波の推算技術の高精度化と防災に関する 基礎的研究	運輸施設整備事業団	総括 研究代表	平成12年8月31 日～15年3月31 日
立川康人	戦略的基礎研究推進事業(CREST)	科学技術振興事業団	グループ リーダー	平成13年12月～ 18年11月
戸田圭一	科学技術振興調整費研究	京都大学防災研究所	分担 研究者	平成13年度
吉岡 洋	高潮や高波の推算技術の高精度化と防災に関する 基礎的研究	運輸施設整備事業団	研究者	平成12年31日～ 15年3月31日
河井宏允	超高層建築物の空力不安定振動に伴う崩壊機構 に関する研究	京都大学	研究 代表者	平成12～13年
中川 一	科学技術振興調整費「都市複合空間水害の総合 減災システムの開発に関する研究」	京都大学防災研究所	研究 メンバー	平成13～15年度
中川 一	高潮や高波の推算技術の高精度化と防災に関する 基礎的研究	運輸施設整備事業団	研究 分担者	平成12年31日～ 15年3月31日
石垣泰輔	都市複合空間水害の総合減災システムの開発	京都大学防災研究所	分担課題 グループ メンバー	平成13年10月～ 現在
山下隆男	沿岸海象の全国合同観測	運輸省波崎海洋施設	共同 研究者	平成10年8～9 月、平成11年8 ～9月
大志万直人	短期的地震前兆の発現機構の研究「伊東市御石 ヶ沢周辺での地磁気全磁力減少の解明」	東京大学地震研究所	代表者	平成13年度
伊藤 潔	地下構造フロンティア		研究員	平成12～17年
澁谷拓郎	創成的基礎研究「海半球ネットワーク・海洋島に おける広帯域地震観測」	東京大学地震研究所		平成8～13年度
澁谷拓郎	科学技術振興調整費「全地球ダイナミクス」	防災科学技術研究所	研究 分担者	平成8～12年度
石原和弘	火山噴火予知研究協議会	東京大学地震研究所	議長	平成12年4月1 日～
石原和弘	自然災害研究協議会	京都大学防災研究所	委員長	平成13年～
山本圭吾	一般共同研究2000-G-09	東京大学地震研究所	研究 代表者	平成12年4月～ 13年3月
神田 径	「雲仙火山：科学掘削による噴火機構とマグマ活 動解明のための国際共同研究」電磁気探査に基 づく火山体構造解析	東京大学地震研究所	研究協力	平成11～13年度
田中賢治	琵琶湖プロジェクト	現地 (参加：全国の大学)	研究 代表者	平成13年度～
城戸由能	戦略的基礎研究推進事業：環境低負荷型の社会 システム「社会実験地での循環複合体のシステ ム構築と環境調和技術の開発」	科学技術振興財団	評価研究 グループ 幹事	平成8年11月～ 13年10月

8.2 学協会活動

表 8.2.1 は、2001 年 8 月現在、防災研究所教官が所属している国内外の学協会名の一覧である。国内の学協会活動としては、防災研究所の使命である「自然災害とその軽減」に直接関わる日本自然災害学会を筆頭に、防災研究所教官の人数構成と研究背景を反映して、土木学会、日本地震学会への所属が圧倒的に多く、その他にも、日本建築学会、日本火山学会、日本気象学会への所属が際立っている。さらに、防災研究所が推進する総合的・学際的研究を背景に、所属学会は、理学、工学、社会科学へと多岐にわたり、所属学会は 100 を超す。学協会に登録されている総会員数は 479 で、これは教官一人当たり平均して 4~5 の学会に所属していることに相当する。

海外の学協会への所属については、

“International Association for Hydraulic Research”、“American Geophysical Union”、“Seismological Society of America”、“American Society of Civil Engineers” を中心に、所属学会として計 30 余、所属総人数も約 90 名にのぼる。ここから、防災研究所教官の研究交流活動は国内に留まらず、海外へも積極的に展開していることがわかる。

また上記学協会の各種委員会活動に対しても、防災研究所教官は、委員長、主査、幹事、委員などの立場から積極的に関与している。さらに、学協会の会長、副会長、理事、評議員などの要職にも就いて各学協会の運営に携わっている。

表 8.2.1 国内外所属学協会一覧

所属者	所属学協会名	所属者	所属学協会名	所属者	所属学協会名
岡田憲夫	水文・水資源学会	鈴木祥之	日本数学会	清水康生	土木学会
岡田憲夫	土木学会	鈴木祥之	地盤工学会	清水康生	水文・水資源学会
岡田憲夫	国際地域学会 (RSAI)	鈴木祥之	日本自然災害学会	入倉孝次郎	日本地震学会
岡田憲夫	日本オペレーションズ・リサーチ学会	鈴木祥之	地域安全学会	入倉孝次郎	日本物理探査学会
岡田憲夫	日本リスク研究学会	鈴木祥之	日本地震工学会	入倉孝次郎	日本建築学会
岡田憲夫	応用地域科学学会	萩原良巳	土木学会	入倉孝次郎	自然災害学会
岡田憲夫	日本都市計画学会	萩原良巳	水文・水資源学会	入倉孝次郎	(財)防災研究協会
岡田憲夫	グループダイナミックス学会	萩原良巳	日本地域学会	入倉孝次郎	米国地球物理学連合
岡田憲夫	環境科学学会	萩原良巳	応用地域学会	入倉孝次郎	米国地震学会
岡田憲夫	システム制御情報学会	萩原良巳	国際応用地域学会	入倉孝次郎	(財)震災予防協会
岡田憲夫	日本福祉のまちづくり学会	萩原良巳	日本造園学会	佐藤忠信	土木学会
亀田弘行	土木学会	萩原良巳	地理情報システム学会	佐藤忠信	地盤工学会
亀田弘行	地域安全学会	萩原良巳	環境科学学会	佐藤忠信	日本自然災害学会
亀田弘行	地理情報システム学会	萩原良巳	環境情報学会	佐藤忠信	地域安全学会
亀田弘行	日本建築学会	多々納裕一	日本リスク研究学会	田中仁史	日本建築学会
亀田弘行	自然災害学会	多々納裕一	土木学会	田中仁史	日本コンクリート工学協会
亀田弘行	日本地震学会	多々納裕一	国際地域学会 (RSAI)	田中仁史	日本地震工学会
亀田弘行	都市計画学会	多々納裕一	日本オペレーションズ・リサーチ学会	田中仁史	日本材料学会
亀田弘行	日本地震学会	多々納裕一	日本都市計画学会	田中仁史	New Zealand Society for Earthquake Engineering
亀田弘行	国際構造物の安全・信頼性学会 (IASSAR)	多々納裕一	応用地域科学学会	田中仁史	American Concrete Institute
鈴木祥之	日本建築学会	多々納裕一	水文・水資源学会	中島正愛	日本建築学会
鈴木祥之	システム制御情報学会	林 康裕	日本建築学会	中島正愛	日本鋼構造協会
鈴木祥之	日本地震学会	林 康裕	地域安全学会	中島正愛	日本計算工学会
		林 康裕	地盤工学会	中島正愛	日本建築構造技術者協会
		林 康裕	日本地震工学会	中島正愛	日本自然学会
		田中 聡	土木学会		
		田中 聡	日本建築学会		
		田中 聡	地域安全学会		

所属者	所属学協会名
中島正愛	日本地震工学会
中島正愛	日本免震構造協会
松波孝治	日本地震学会
松波孝治	日本建築学会
松波孝治	日本自然災害学会
松波孝治	米国地震学会
澤田純男	土木学会
澤田純男	地盤工学会
澤田純男	地震学会
澤田純男	日本自然災害学会
澤田純男	地震工学会
澤田純男	Sesimological Society of America
澤田純男	材料学会
澤田純男	震災予防協会
吹田啓一郎	日本鋼構造協会
吹田啓一郎	日本地震工学会
吹田啓一郎	日本建築学会
吹田啓一郎	日本材料学会
岩田知孝	日本地震学会
岩田知孝	米国地球物理学連合
岩田知孝	米国地震学会
岩田知孝	日本自然災害学会
本田利器	土木学会
本田利器	地盤工学会
本田利器	日本地震学会
諸岡繁洋	日本建築学会
諸岡繁洋	日本計算工学会
嘉門雅史	土木学会
嘉門雅史	地盤工学会
嘉門雅史	日本材料学会
嘉門雅史	廃棄物学会
嘉門雅史	日本自然災害学会
嘉門雅史	国際ジオシンセティックス学会
千木良雅弘	日本応用地質学会
千木良雅弘	日本地質学会
千木良雅弘	国際応用地質学会
千木良雅弘	日本地形学連合
千木良雅弘	地盤工学会
千木良雅弘	日本地すべり学会
佐々恭二	国際林業研究機関連合 (IUFRO)
佐々恭二	国際地盤工学会 (ISSMGE)
佐々恭二	国際応用地質学会 (IAEG)
佐々恭二	日本地すべり学会
佐々恭二	地盤工学会
佐々恭二	砂防学会
佐々恭二	土木学会
佐々恭二	地すべり対策技術協会
佐々恭二	日本林学会
佐々恭二	日本自然災害学会

所属者	所属学協会名
佐々恭二	日本応用地質学会
佐々恭二	日本地形学連合
佐々恭二	斜面災害研究推進会議
佐々恭二	自然災害総合研究班
佐々恭二	国際斜面災害研究機構 (ICL)
奥西一夫	日本地形学連合
奥西一夫	日本陸水学会
奥西一夫	日本水文科学学会
奥西一夫	陸水物理研究会
奥西一夫	砂防学会
奥西一夫	日本地すべり学会
奥西一夫	日本自然災害学会
奥西一夫	International Association of Hydrological Sciences
Roy C. Sidle	Japanese Forestry Society
Roy C. Sidle	International Union of Forestry Research Organizations (IUFRO)
Roy C. Sidle	American Geophysical Union (AGU)
三村 衛	日本地震工学会
三村 衛	GIS 学会
三村 衛	日本自然災害学会
三村 衛	日本材料学会
三村 衛	地盤工学会
三村 衛	土木学会
諏訪 浩	日本地形学連合
諏訪 浩	砂防学会
諏訪 浩	日本地すべり学会
諏訪 浩	日本自然災害学会
諏訪 浩	堆積学研究会
諏訪 浩	陸水物理研究会
諏訪 浩	米国地球物理学連合
諏訪 浩	国際水文科学学会
諏訪 浩	国際地形学会
福岡 浩	日本地すべり学会
福岡 浩	砂防学会
福岡 浩	地盤工学会
福岡 浩	日本地形学連合
福岡 浩	日本自然災害学会
福岡 浩	日本惑星科学学会
釜井俊孝	日本地質学会
釜井俊孝	地盤工学会
釜井俊孝	日本地すべり学会
釜井俊孝	日本応用地質学会
釜井俊孝	日本地形学連合
乾 徹	土木学会

所属者	所属学協会名
乾 徹	地盤工学会
乾 徹	廃棄物学会
乾 徹	日本材料学会
乾 徹	日本地下水学会
竹内篤雄	日本地すべり学会
竹内篤雄	日本応用地質学会
竹内篤雄	日本地下水学会
竹内篤雄	物理探査学会
竹内篤雄	日本地形学連合
竹内篤雄	日本水文科学学会
竹内篤雄	日本地熱学会
Ayele Taddese TEWODROS (COE 研究員)	日本地すべり学会
高橋 保	土木学会
高橋 保	砂防学会
高橋 保	自然災害学会
高橋 保	水文・水資源学会
高橋 保	国際水理学会
寶 馨	土木学会
寶 馨	日本自然災害学会
寶 馨	水文・水資源学会
寶 馨	日本水文科学学会
寶 馨	応用統計学会
寶 馨	地理情報システム学会
寶 馨	日本リモートセンシング学会
寶 馨	写真測量学会
寶 馨	日本地形学連合
寶 馨	日本気象協会
寶 馨	日本河川協会
寶 馨	国際水理学会 (IAHR)
寶 馨	国際水文科学学会 (IAHS)
寶 馨	国際水資源学会 (IWRA)
寶 馨	アメリカ土木学会 (ASCE)
寶 馨	アメリカ地球物理学連合 (AGU)
寶 馨	アメリカ水資源学会 (AWRA)
寶 馨	リモートセンシング学会 (RSS)
井上和也	土木学会
井上和也	日本自然災害学会
井上和也	水文・水資源学会
井上和也	ダム工学会
井上和也	応用生態工学会
井上和也	日本海洋学会沿岸海洋研究部会
井上和也	国際水理学会

所属者	所属学協会名
高山知司	日本土木学会
高山知司	日本沿岸域学会
高山知司	日本自然災害学会
立川康人	土木学会
立川康人	水文・水資源学会
立川康人	日本自然災害学会
立川康人	American Geophysical Union
戸田圭一	土木学会
戸田圭一	国際水理学会
戸田圭一	日本自然災害学会
戸田圭一	水文・水資源学会
間瀬 肇	土木学会
間瀬 肇	日本沿岸域学会
間瀬 肇	アメリカ土木学会
児島利治	水文・水資源学会
児島利治	日本リモートセンシング学会
児島利治	土木学会
吉岡 洋	日本海洋学会
吉岡 洋	海洋気象学会
吉岡 洋	日本自然災害学会
吉岡 洋	土木学会
吉岡 洋	日本沿岸域学会
吉岡 洋	日本気象学会
岩嶋樹也	日本気象学会
植田洋匡	日本気象学会
植田洋匡	日本流体力学会
植田洋匡	環境科学学会
植田洋匡	大気環境学会
植田洋匡	化学工学会
植田洋匡	日本伝熱学会
植田洋匡	エアロゾル学会
植田洋匡	瀬戸内海研究会議
河井宏允	日本建築学会
河井宏允	日本鋼構造教会
河井宏允	日本風工学会
石川裕彦	日本原子力学会
石川裕彦	日本自然災害学会
石川裕彦	日本気象学会
丸山 敬	日本建築学会
丸山 敬	日本流体力学会
丸山 敬	日本風工学会
井口敬雄	日本気象学会
堀口光章	日本気象学会
中川 一	土木学会
中川 一	日本自然災害学会
中川 一	国際水理学会
中川 一	砂防学会
関口秀雄	土木学会
関口秀雄	地盤工学会
関口秀雄	国際地盤工学会
関口秀雄	American Geophysical Union
関口秀雄	日本応用地質学会

所属者	所属学協会名
関口秀雄	日本材料学会
関口秀雄	日本レオロジー学会
関口秀雄	日本粘土学会
関口秀雄	日本自然災害学会
関口秀雄	海洋調査技術学会
関口秀雄	日本地震工学会
関口秀雄	堆積学研究会
石垣泰輔	土木学会
石垣泰輔	国際水理学会
石垣泰輔	自然災害学会
石垣泰輔	可視化情報学会
石垣泰輔	日本流体力学会
澤田豊明	土木学会
澤田豊明	砂防学会
澤田豊明	日本災害学会
澤田豊明	日本黒部学会
末峰 章	日本地すべり学会
末峰 章	砂防学会
末峰 章	地震学会
末峰 章	測地学会
末峰 章	物理探査学会
末峰 章	地盤工学会
林 泰一	日本気象学会
林 泰一	日本流体力学会
林 泰一	日本風工学会
林 泰一	日本自然災害学会
林 泰一	日本海洋気象学会
林 泰一	アメリカ気象学会
山下隆男	土木学会
山下隆男	海洋気象学会
武藤裕則	土木学会
武藤裕則	日本自然災害学会
武藤裕則	日本流体力学会
武藤裕則	International Association for Hydraulic Research
馬場康之	土木学会
馬場康之	日本流体力学会
馬場康之	国際水理学会 (IAHR)
加藤 茂	土木学会
加藤 茂	海洋気象学会
橋本 学	日本地震学会
橋本 学	日本火山学会
橋本 学	日本測地学会
橋本 学	自然災害学会
橋本 学	American Geophysical Union
橋本 学	Seismological Society of America
梅田康弘	日本地震学会
梅田康弘	日本測地学会
梅田康弘	American Geophysical Union
Mori James Jiro	日本地震学会

所属者	所属学協会名
Mori James Jiro	American Geophysical Union
Mori James Jiro	Seismological Society of America
Mori James Jiro	Earthquake Engineering Research Institute
大志万直人	地球電磁気・地球惑星圏学会
大志万直人	日本地震学会
大志万直人	American Geophysical Union
大志万直人	International Association of Geomagnetism and Aeronomy (IAGA)
古澤 保	日本地震学会
古澤 保	日本測地学会
柳谷 俊	地震学会
柳谷 俊	American Geophysical Union
渡辺邦彦	日本地震学会
渡辺邦彦	日本測地学会
渡辺邦彦	日本応用地質学会
渡辺邦彦	日本自然災害学会
松村一男	日本地震学会
松村一男	日本自然災害学会
伊藤 潔	日本地震学会
伊藤 潔	日本火山学会
伊藤 潔	日本測地学会
伊藤 潔	日本物理探査学会
伊藤 潔	日本地熱学会
伊藤 潔	日本情報地質学会
伊藤 潔	American Geophysical Union, Seismological Society of America
竹内文朗	日本地震学会
竹内文朗	日本測地学会
竹内文朗	日本物理探査学会
片尾 浩	日本地震学会
片尾 浩	地球電磁気・地球惑星圏学会
片尾 浩	American Geophysical Union
吉村令慧	地球電磁気・地球惑星圏学会
吉村令慧	日本地震学会
重富國宏	日本地震学会
重富國宏	日本測地学会
重富國宏	日本自然災害学会
大谷文夫	日本地震学会
大谷文夫	日本測地学会
大谷文夫	日本火山学会

所属者	所属学協会名
森井 瓦	日本測地学会
森井 瓦	日本地震学会
澁谷拓郎	日本地震学会
澁谷拓郎	日本自然災害学会
澁谷拓郎	American Geophysical Union
許斐 直	地震学会
尾上謙介	日本測地学会
尾上謙介	日本地震学会
寺石眞弘	日本測地学会
寺石眞弘	日本地震学会
大見士朗	日本地震学会
大見士朗	日本火山学会
大見士朗	日本測地学会
大見士朗	日本物理探査学会
大見士朗	American Geophysical Union, Seismological Society of America
中村佳重郎	日本測地学会
中村佳重郎	日本地震学会
中村佳重郎	日本火山学会
石原和弘	日本火山学会
石原和弘	日本地震学会
石原和弘	日本自然災害学会
石原和弘	International Association of Volcanology and Chemistry of Earth's Interior
石原和弘	震災予防協会
石原和弘	東京地学協会
井口正人	日本火山学会
井口正人	日本地震学会
井口正人	東京地学協会
井口正人	International Association of Volcanology and Chemistry of the Earth Interior
井口正人	American Geophysical Union
味喜大介	地球電磁気・地球惑星圏学会
味喜大介	日本火山学会
山本圭吾	日本火山学会
山本圭吾	日本地震学会
山本圭吾	American Geophysical Union
神田 径	地球電磁気・地球惑星圏学会
為栗 健	日本火山学会
為栗 健	日本地震学会
池淵周一	土木学会

所属者	所属学協会名
池淵周一	水文・水資源学会
池淵周一	日本雪氷学会
池淵周一	ダム工学会
池淵周一	応用生態工学研究会
池淵周一	実践水文システム研究会
池淵周一	国際水資源協会 (IWR)
池淵周一	防災・環境新技術研究会
岡 太郎	土木学会
岡 太郎	農業土木学会
岡 太郎	地盤工学会
岡 太郎	水文・水資源学会
岡 太郎	自然災害学会
岡 太郎	数値流体力学学会
岡 太郎	アメリカ地球物理学学会
岡 太郎	国際水理学会
岡 太郎	アメリカ地下水学会
小尻利治	土木学会
小尻利治	水文・水資源学会
小尻利治	実践水文システム研究会
小尻利治	国際水資源学会 (IWRA)
小尻利治	実践水文システム研究会
小尻利治	国際水理学会 (IAHR)
小尻利治	日本フェジ学会
小尻利治	アメリカ測地学会
小尻利治	国際水文科学学会 (IAHS)
竹門康弘	日本生態学会
竹門康弘	日本陸水学会
竹門康弘	日本昆虫学会
竹門康弘	奈良陸水生物研究会
竹門康弘	日本行動学会
竹門康弘	応用生態工学研究会
竹門康弘	個体群生態学会
竹門康弘	日本熱帯生態学会
城戸由能	日本土木学会
城戸由能	システム制御情報会
城戸由能	日本経営工学会
城戸由能	日本都市計画学会
城戸由能	日本都市計画学会
城戸由能	環境情報科学センター
城戸由能	環境科学学会
城戸由能	エネルギー・資源学会
城戸由能	廃棄物学会

所属者	所属学協会名
城戸由能	地理情報システム学会
城戸由能	瀬戸内海研究会議
城戸由能	日本水環境学会
城戸由能	環境経済・政策学会
城戸由能	水文・水資源学会
城戸由能	日本下水道協会
城戸由能	日本自然災害学会
城戸由能	International Water Association
友杉邦雄	土木学会
友杉邦雄	日本自然災害学会
友杉邦雄	水文・水資源学会
友杉邦雄	実践水文システム研究会
友杉邦雄	日本河川協会
田中賢治	土木学会
田中賢治	水文・水資源学会
田中賢治	国際水文科学学会 (IAHS)
浜口俊雄	土木学会
浜口俊雄	地盤工学会
浜口俊雄	農業土木学会
浜口俊雄	水文・水資源学会
浜口俊雄	日本雨水資源化システム学会
河田恵昭	日本自然災害学会
河田恵昭	地震工学会
河田恵昭	日本災害情報学会
河田恵昭	国際災害学会 (Natural Hazard Society)
河田恵昭	土木学会
林 春男	日本心理学会
林 春男	日本グループダイナミックス学会
林 春男	日本社会心理学会
林 春男	地域安全学会
林 春男	日本火災学会
林 春男	日本自然災害学会
林 春男	土木学会
林 春男	日本建築学会
林 春男	人間・環境学会
林 春男	日本地理情報学会
林 春男	情報処理学会
林 春男	日本災害情報学会
田中哮義	日本建築学会
田中哮義	日本火災学会
田中哮義	安全工学協会
田中哮義	所属者 所属学協会名
田中哮義	自然災害学会
田中哮義	建築研究振興協会
田中哮義	International Association for Fire Safety Science

所属者	所属学協会名
田中哮義	Society of Fire Protection Engineers
赤松純平	日本地震学会
赤松純平	日本地震工学会

所属者	所属学協会名
赤松純平	日本自然災害学会
赤松純平	米国地震学会
川方裕則	日本地震学会
川方裕則	米国地球物理連合学会

表 8.2.2 に過去 5 年間の国際会議、国際シンポジウムでの活動を、表 8.2.3 に国内会議、国内シンポジウムでの活動状況をまとめた。国際的な場でも、基調講演、招待講演、科学評価委員の指名の数は多数にのぼる。また、表 8.2.4 に示したように、国際学術雑誌の編集者としての貢献数も 29 にのぼり、防災研究所の職員が災害研究の面で世界の研究をリードしていることが伺える。また、国際会議のオーガナイズの面でも、議長や組織委員、実行委員など目覚ましい活躍がみられる。

このことから、国際学協会における日本人研究者への期待が大きくなっていることが伺える。1996 年度から科学研究費において海外渡航旅費を計上することが可能になるなど、国際学協会が主催する会議や委員会に参加するために充当できる海外渡航旅費

は若干増えてはいるものの、十分な国際活動に必要な額が保証されるには至っていない。日本が世界に対してもつ責務を考えれば、海外渡航旅費に対する一層の支援が望まれる。

一方で、学協会活動の活発化は、研究への時間配分の減少を招いている。特に、研究分野の細分化と学際研究分野の萌芽により、近年学協会の数は増加の一途をたどっており、教官が学協会の活動、運営にますます忙殺される傾向が見られる。種々の学協会からの活動の要請がますます強くなる状況下で、学会活動と自分の研究活動のバランスが問われる時期にきている。

表 8.2.2 国際会議・シンポジウムでの活動

氏名	国際会議・シンポジウム名	役職名	開催期間	場所
岡田憲夫	2000 Joint Seminar on Urban Disaster Management	組織委員長・座長	平成 12 年 3 月 13 日	中国・北京・建築技術研究所
岡田憲夫	Global Change and Catastrophe Risk Management	組織委員長・座長	平成 12 年 7 月 6 日～9 日	オーストリア・ウィーン・国際応用システム研究所
岡田憲夫	2001 Joint Seminar on Urban Disaster Management	組織委員長・座長	平成 12 年 12 月 23 日	中国・北京・建築技術研究所
岡田憲夫	Innovations in Managing Catastrophic Risks: How Can They Help the Poor?	招待講演	平成 13 年 1 月 7～12 日	米国・ワシントン・世界銀行 F ビル
岡田憲夫	国際過疎会議 (Kasology International)	組織委員長・座長	平成 13 年 5 月 23～27 日	鳥取県智頭町・地域と科学の出会い館
岡田憲夫	Japan-US Workshop on Disaster Risk Management for Urban Infrastructure Systems	組織委員長・座長	平成 13 年 5 月 15～16 日	京都・キャンパスプラザ京都
岡田憲夫	DPRI-Kyoto University Forum on Recent Challenges in Integrated Disaster Management ~Japan and USA	組織委員長・座長	平成 13 年 5 月 17 日	京都・ばるるプラザ京都
岡田憲夫	IIASA-DPRI Joint Workshop on Integrated Disaster Risk Management	組織委員・座長	平成 13 年 8 月 1 日～4 日	オーストリア・ウィーン・国際応用システム研究所

氏名	国際会議・シンポジウム名	役職名	開催期間	場所
岡田憲夫	2002 Joint Seminar on Urban Disaster Management	組織委員長・座長	平成14年3月11日	中国・北京・建築技術研究所
岡田憲夫	マレーシア拠点大学交流事業 (JSPS/VCC) 総合的環境計画とマネジメント	共同研究グループ代表者	平成14年10月15日～16日	マレーシア・クアラルンプール・イスラミック国際大学
亀田弘行	RESEARCH EFFORTS FOR EARTHQUAKE AND TSUNAMI DISASTER REDUCTION IN THE ASIA-PACIFIC REGION EQTAP Project - A Challenge for Establishing , "Implementation Technologies	EQTAP 組織委員長	平成13年8月1～4日	オーストリア・ルクセンブルク
亀田弘行	Third Multi-lateral Workshop on Development of Earthquake and Tsunami Disaster Mitigation Technologies and Their Integration for the Asia-Pacific Region (EQTAP) Organized by Earthquake Disaster Mitigation Research Center-RIKEN and Philippine Institute of Volcanology and Seismology	研究代表者	平成12年11月28～30日	マニラ
亀田弘行	Fourth Multi-lateral Workshop on Development of Earthquake and Tsunami Disaster Mitigation Technologies and Their Integration for the Asia-Pacific Region (EQTAP) Organized by Earthquake Disaster Mitigation Research Center-NIED	研究代表者	平成13年12月3～4日	鎌倉市
鈴木祥之	Symposium in Honor of Takuji Kobori on Earthquake Engineering in the Next Millennium	組織委員	平成12年11月7日	国際高等研究所
鈴木祥之	第2回日本制震(振)シンポジウム	実行委員長	平成12年11月8～9日	国立京都国際会館
多々納祐一	2000 Joint Seminar on Urban Disaster Management	組織委員	平成12年12月22～23日	中国・北京・建築技術研究所
多々納祐一	Mitigation of Seismic Risk Support to Recently Affected European Countries,	招待講演	平成12年11月26日～12月1日	イタリア (ホテルカルロッタ)
多々納祐一	2001 Joint Seminar on Urban Disaster Management	組織委員	2000年12月23日	中国・北京・建築技術研究所
多々納祐一	Innovations in Managing Catastrophic Risks: How Can They Help the Poor?	招待講演	平成13年1月7～12日	米国・ワシントン・世界銀行Fビル
多々納祐一	Japan-US Workshop on Disaster Risk Management for Urban Infrastructure Systems	組織委員	平成13年5月15～16日	京都・キャンパスプラザ京都
多々納祐一	DPRI-Kyoto University Forum on Recent Challenges in Integrated Disaster Management -Japan and USA	組織委員	平成13年5月17日	京都・ぱるるプラザ京都
多々納祐一	インフラストラクチャー研究所・開設記念シンポジウム「21世紀市民と技術によるまちづくり」企画	組織委員	平成13年5月29日	京都・ぱるるプラザ京都
多々納祐一	IIASA-DPRI Joint Workshop on Integrated Disaster Risk Management IIASA	組織委員・座長	平成13年8月1～4日	オーストリア・ウィーン・国際応用システム研究所
多々納祐一	2002 Joint Seminar on Urban Disaster Management	組織委員	平成14年3月11日	中国・北京・建築技術研究所
入倉孝次郎	International Workshop on Annual Commemoration of Chi-Chi earthquake	招待講演者	平成13年9月18～20日	台湾・台北

氏名	国際会議、シンポジウム名	役職名	開催期間	場所
入倉孝次郎	2001 IAGA-IASPEI Joint Scientific Assembly	座長・招待講演者	平成13年8月20～30日	ベトナム・ハノイ
入倉孝次郎	AGU 2001 Fall Meeting	座長・招待講演者	平成13年	米国・サンフランシスコ
中島正愛	The Fourth International Conference on Behavior of Steel	組織委員会委員・座長	平成12年	カナダ
中島正愛	The International Workshop on Annual Commemoration of Chi-Chi Earthquake	招待講演	平成12年	台湾
中島正愛	The First International Conference on Structural Stability and Dynamics, Taipei, Taiwan	招待講演	平成12年	台湾
中島正愛	US-Japan Joint Workshop and Third Grantees Meeting US-Japan Cooperative Research on Urban Earthquake Disaster Mitigation	組織委員会幹事	平成13年	米国
中島正愛	The Seventh International Symposium of the Japan Welding Society	招待講演	平成13年	日本
中島正愛	Earth Science and Natural Disaster Prevention - Japan-Italy Joint Meeting	組織委員会幹事	平成13年	日本
澤田純男	10th International Conference on Soil Dynamics and Earthquake Engineering	座長	平成13年10月7-10日	米国
吹田啓一郎	The 2nd Korea-Japan Joint Seminar on Earthquake Engineering for Building Structures	幹事	平成12年10月20～21日	京都市
吹田啓一郎	The 3rd Japan-Korea-Taiwan Joint Seminar on Earthquake Engineering for Building Structures	幹事	平成13年11月16～17日	台湾・台北
岩田知孝	米国地球物理学連合秋季大会	特別セッション座長	平成13年12月	米国・サンフランシスコ
嘉門雅史	4th Kansai International Geotechnical Forum	組織委員長(共同)	平成12年5月	京都市
嘉門雅史	International Seminar on Geotechnics in Kochi	組織委員長・招待講演者	平成12年9月	高知県
嘉門雅史	International Conference on Geotechnical and Geological Engineering	講演者	平成12年11月	オーストラリア
嘉門雅史	International symposium on suction, swelling, permeability and structure of clays	招待講演者	平成13年1月	静岡県
嘉門雅史	International Symposium on Recent Developments of Ground Improvement	組織委員長	平成13年5月	大阪市
千木良雅弘	国際地形学会議	座長	平成13年8月23～28日	中央大学
佐々恭二	GeoEng2000	特別講演	平成12年11月19～20日	オーストラリア・メルボルン
佐々恭二	International Conference on Research and Application on Hydrogeological Disasters in the World	特別講演	平成12年12月5～10日	イタリア・ローマ
佐々恭二	国際林業研究機関連合(IUFRO) XXI World Congress, Division 8 (Environmental Forest Sciences) Session	実行委員長・編集委員長	平成12年8月	マレーシア・クアラルンプール
佐々恭二	国際地盤工学会地すべり技術委員会(TC-11)主催会議 “Conference on Transition from Slide to Flow,”	実行委員長・講演	平成12年8月25～26日	トルコ・トラブゾン
佐々恭二	国際地盤工学会アジア地域技術委員会(ATC-9:文化遺産の地すべり災害からの保全)主催Field Workshop on Landslides and Natural /Cultural Heritages	組織委員長・編集委員長	平成13年8月23～24日	トルコ・トラブゾン
佐々恭二	International Symposium Landslide Risk Mitigation and Protection of Cultural and Natural Heritage	実行委員長	平成13年1月	東京都
佐々恭二	International Symposium Landslide Risk Mitigation and Protection of Cultural and Natural Heritage,	実行委員長	平成14年1月	京都市
奥西一夫	Symposium on Landslides, Debris Flows and Related Fluvial Processes	コンビーナー	平成13年8月	熊野市
奥西一夫	Fifth International Conference on Geomorphology	組織委員会委員	平成13年8月	東京都
奥西一夫	Field Workshop on Mountain Hazards	主催者	平成13年9月	長野県大滝村

氏名	国際会議、シンポジウム名	役職名	開催期間	場所
Roy C. Sidle	5th International Conf. on Geomorphology "Interaction between geomorphic changes and hydrological circulation"	コーディネーター・組織委員長(共同)	平成13年	東京都
Roy C. Sidle	5th International Conf. on Geomorphology, 'Hydrogeomorphology'	招待講演者	平成13年	東京都
Roy C. Sidle	A workshop on "Multiple Functions and Benefits of Forests in Taiwan"	コンビーナー	平成13年6月	台湾・Chung-Hsing 大学
Roy C. Sidle	2001 American Geophysical Union (AGU) Spring Meeting "Recent Advancement in Forest Catchment Intercomparison"	招待委員 メンバー	平成13年	米国・ボストン
Roy C. Sidle	AGU Chapman Conference on State-of-the-Art Hillslope Hydrology	招待講演者・招待参加者	平成13年10月	米国・オレゴン
Roy C. Sidle	International IGBP-PAGES PEPII meeting	コーディネーター	平成13年11月	シンガポール
Roy C. Sidle	on natural hazards in an upcoming issue in Quaternary International	編集委員	平成13年11月	シンガポール
Roy C. Sidle	ICRAF	招待参加者	平成14年	
Roy C. Sidle	The 1st Board of Representatives meeting of the International Consortium on Landslides	招待参加者		フランス・パリ
福岡 浩	International Symposium on Landslide Risk Mitigation and Protection of Cultural and	実行委員	平成13年1月	東京都
福岡 浩	International Symposium on Landslide Risk Mitigation and Protection of Cultural and Natural Heritag	実行委員	平成14年1月	京都市
福岡 浩	国際地盤工学会地すべり技術委員会(TC-11)主催会議 "Conference on Transition from Slide to Flow,"	実行委員・講演	平成12年8月25～26日	トルコ・トラブゾン
福岡 浩	国際地盤工学会アジア地域技術委員会(ATC-9:文化遺産の地すべり災害からの保全)主催Field Workshop on Landslides and Natural /Cultural Heritages	組織委員	平成13年8月23～24日	トルコ・トラブゾン
福岡 浩	国際林業研究機関連合(IUFRO) XXI World Congress, Division 8 Session	実行委員	平成12年8月	マレーシア・クアラルンプール
三村 衛	International Sympojum on Coastal Engineering in Practice	組織委員	平成12年	横浜市
三村 衛	International Sympojum on Modern Tunneling Science and Technology	組織委員	平成13年	京都市
乾 徹	International Symposium on Recent Developmens of Ground Improvement	実行委員会幹事	平成13年5月	大阪大学
高橋 保	土石流災害軽減に関する国際シンポジウム	国際助言委員会委員・基調講演者	平成12年8月16～18日	台湾・台北
高橋 保	国際水理学会アジア・太平洋部会会議	座長	平成12年11月13～14日	タイ・バンコク
高橋 保	国際水防災シンポジウム	招待講演	平成13年8月23日	韓国・ソウル
高橋 保	第2回国際水理学会 河川、海岸及び河口の水理地形シンポジウム	科学委員会委員・座長	平成13年9月10～14日	帯広市
寶 馨	The 14th Session of Intergovernmental Council for International Hydrological Programme (IHP), UNESCO	日本代表	平成12年	フランス・パリ
寶 馨	Hazards 2000 International Conference	座長	平成12年5月	徳島県
寶 馨	2001 Symposium on assessment, prediction and prevention on geohazard	招待講演者	平成13年8月	韓国・大田市
井上和也	国際水理学会	座長	平成13年9月21～25日	中国・北京
井上和也	河川構造物の安全性と信頼性に関するシンポジウム	座長	平成14年5月27～31日	ロシア・サンクトペテルブルグ
高山知司	海岸工学国際会議	座長	平成12年7月	シドニー
高山知司	ISOPE	実行委員長	平成14年5月	北九州市
立川康人	Workshop on Meso-scale systems in Meiyu/Baiu Front and Hydrological Cycle	座長	平成11年11月	中国・西安

氏名	国際会議、シンポジウム名	役職名	開催期間	場所
立川康人	2001 Symposium on assessment, prediction and prevention on geohazard	招待講演	平成13年	韓国・大田市
間瀬 肇	第2回アジア土木技術国際会議	幹事	平成13年	東京都
間瀬 肇	Int. Workshop on Advanced Design of Maritime Structures in the 21st Century	座長	平成13年	横須賀市
植田洋匡	Air Pollution 2001, Sci. Adv. Committee	組織委員長	平成13年7月1～3日	イタリア・ジェノバ
植田洋匡	7th Int. Conf. On Atmospheric Science and Application to Air Quality, Sci. Adv. Committee	組織委員長	平成12年10月31日～11月2日	台湾・台北
植田洋匡	3rd Expert Meeting on Long-range Transboundary Air Pollutants in North East Asia	組織委員長	平成12年8月22～24日	台湾・台北
植田洋匡	4rd Expert Meeting on Long-range Transboundary Air Pollutants in North East Asia	組織委員長	平成13年8月22～24日	韓国・ソウル
植田洋匡	12th World Clean Air and Environment Conference, Sci. Adv. Committee	組織委員長	平成13年8月26～31日	韓国・ソウル
植田洋匡	3rd MICS-Asia (Model Intercomparison Study) Workshop, Organising committee	組織委員長	平成12年8月27～28日	オーストリア・ルクセンブルグ
植田洋匡	4th MICS-Asia (Model Intercomparison Study) Workshop, Organising committee	組織委員長	平成13年10月10～12日	オーストリア・ルクセンブルグ
河井宏允	International Symposium on Wind and Structures for the 21st Century	招待講演	平成12年	韓国
河井宏允	The 5th Asia-Pacific Conference on Wind Engineering	組織委員	平成13年	京都市
河井宏允	Japan Day at the Royal Society	招待講演	平成13年	英国
河井宏允	Wind Hazard Mitigation in Urban Areas	招待講演	平成13年	神奈川県
中川 一	2nd International Conference on Debris-flow Hazard Mitigation	議長	平成14年	台湾・台北
中川 一	International Symposium Landslide Risk Mitigation and Protection of Cultural and Natural Heritage	組織委員	平成14年1月21～25日	京都・ばるるプラザ京都
関口秀雄	Kazakhstan-Japan Joint Geotechnical Seminar	組織委員長・招待講演者	平成13年8月2～3日	カザフスタン・アスタナ
関口秀雄	国際地盤工学会代表者会議	日本代表	平成13年8月26日	トルコ・イスタンブール
石垣泰輔	第13回国際水理学会アジア太平洋地区会議	専門委員会委員・座長	平成14年8月6～8日	
山下隆男	Pacific Congress on Marine Science and Technology (PACON2000)	司会	平成12年年6月5～9日	米国・ホノルル
山下隆男	Korea-China Conference on Port and Coastal Engineering	司会	平成12年9月21～23日	韓国・ソウル大学
山下隆男	The 11th PAMS/JECSS WORKSHOP	司会	平成13年4月11～13日	韓国・済州島
山下隆男	The Inaugural International Conf. on Port and maritime R&D and Technology	司会	平成13年10月29～31日	シンガポール
Mori James Jiro	US-Japan Workshop on Foreshocks and Rupture Initiation	主催者	平成12年10月3～6日	京都市
古澤 保	第14回地球潮汐国際シンポジウム	組織委員	平成12年8月28日～9月1日	水沢市
西上欽也	アメリカ地球物理学連合学会	座長・招待講演	平成12年12月	サンフランシスコ
石原和弘	IAVCEI	コンピーナー	平成12年7月18～22日	インドネシア・バリ島
井口正人	IAVCEI	コンピーナー	平成12年7月18～22日	インドネシア・バリ島
池淵周一	「第5回気象レーダーの水文学への応用に関する国際シンポジウム-レーダー水文学-」	組織委員会委員長	平成13年11月19～22日	京都・平安会館
竹門康弘	国際生態学会、シンポジウム『東アジアの河川における応用生態工学』	主催者・講演者	平成14年8月11～18日	韓国・ソウル
田中賢治	「第5回気象レーダーの水文学への応用に関する国際シンポジウム-レーダー水文学-」	組織委員会委員	平成13年11月19～22日	京都・平安会館
岡 太郎	第12回国際水理学会	座長	平成12年11月	タイ・バンコク
城戸由能	1st Asia Pacific Hydrology and Water Resources 2003	組織委員	平成15年3月13～15日	京都市

氏名	国際会議、シンポジウム名	役職名	開催期間	場所
小尻利治	Eighth International Symposium on Stochastic Hydraulics	アドバイザー 委員・座長	平成12年7月25～ 28日	中国・北京
小尻利治	The fourth International Conference on Hydro- Science and Engineering	座長	平成12年9月26～ 29日	韓国・ソウル
小尻利治	XXIX IAHR Congress	座長	平成13年9月16～ 21日	中国・北京
小尻利治	「第5回気象レーダーの水文学への応用に関する国 際シンポジウム-レーダー水文学-」	組織委員会 委員	平成13年11月19～ 22日	京都市
小尻利治	国際シンポジウム モンスーンアジアにおける水文 と水資源の新たな枠組みに向けて	組織委員会 委員	平成13年12月14日	東京都
河田恵昭	ハザード2000	実行委員長	平成12年5月21～ 24日	徳島県
林 春男	ハザード2000	招待講演	平成12年5月21～ 24日	徳島県
田中哮義	7 th International Symposium, International Association for Fire Safety Science	プログラム 委員	平成14年6月17～ 21日	米国・Woucester
田中哮義	ハザード2000	招待講演	平成12年5月21～ 24日	徳島県

表8.2.3 国内会議・シンポジウムでの活動

氏名	会議名	役職	期間	場所
岡田憲夫	土木学会関西支部 平成13年度関西支部学術研究発表会	座長	平成13年6月4日	大阪市立 大学
鈴木祥之	2000年度日本建築学会大会災害部門研究協議会 「地震動の特性と建築物の被害－経験と予測－」	講師	平成12年9月10日	日本大学・ 郡山
鈴木祥之	シンポジウム「木構造と木造文化の再構築」	組織委員長	平成13年3月1日	建設交流館
鈴木祥之	第27回制御技術研究会「建築物の振動制御」	招待講演者	平成14年2月27日	京大会館
鈴木祥之	第1回日本地震工学研究発表・討論会	座長	平成13年11月28～ 30日	日本学術 会議
多々納祐一	平成12年度関土木学会年次学術講演会	座長	平成12年6月5日	関西大学
多々納祐一	土木学会第55回年次学術講演会	座長	平成12年9月21～ 23日	東北大学
多々納祐一	土木学会 土木計画学シンポジウム 「災害リスク研究の最前線と社会への提言」	組織委員	平成12年7月15 日	土木学会 図書館講堂
多々納祐一	土木学会関西支部 平成13年度関西支部学術研究発表会	座長	平成13年6月4日	大阪市立 大学
多々納祐一	土木学会第56回年次学術講演会	座長	平成13年10月2～4 日	熊本大学
林 康裕	日本建築学会第6回構造物と地盤の動的相互作用シ ンポジウム「相互作用の過去・現在・未来、相互作 用と性能設計」	組織委員・講演者	平成13年3月	
林 康裕	日本建築学会第28回地盤震動シンポジウム、震源近 傍の強震動と設計用入力地震動 トルコ・コジャエ リ地震、台湾・集集地震の経験を踏まえて	招待講演者	平成12年11月	
林 康裕	日本建築学会近畿支部・シンポジウム「建物・地盤 の動的相互作用－限界耐力計算にどう活かすか－」	組織委員・講演者	平成13年10月	
林 康裕	日本建築学会近畿支部・シンポジウム 「建築基準法改正後の実務設計がどう変わったか その実例と解説」	組織委員・講演者	平成14年2月	
入倉孝次郎	地球惑星科学関連学会2001年合同大会	招待講演者	平成13年6月4～8 日	東京・ 代々木
中島正愛	日本建築学会大会応用力学パネルディスカッション	座長	平成12年9月	福島市
中島正愛	日本建築学会大会鋼構造パネルディスカッション	パネラー	平成12年9月	福島市
中島正愛	日本建築学会大会災害パネルディスカッション	パネラー	平成12年9月	福島市
中島正愛	日本建築学会大会災害パネルディスカシヨ	座長	平成12年9月	東京
中島正愛	第30回安全工学シンポジウムPD (神戸、トルコ、台湾地震と技術移転)	座長	平成12年7月	東京
澤田純男	日本地震工学シンポジウム	運営委員	平成14年11月	
岩田知孝	地球惑星科学関連合同大会	特別セッション 座長	平成12年6月	東京
本田利器	第55回土木学会年次学術講演会	座長	平成12年9月21～ 23日	
本田利器	第56回土木学会年次学術講演会	座長	平成12年10月2～4 日	
本田利器	第26回 地震工学研究発表会	座長	平成13年8月1～3 日	
嘉門雅史	第4回地盤改良シンポジウム	組織委員長	平成12年11月	大阪
千木良雅弘	日本応用地質学会平成12年研究発表会	組織委員	平成12年10月31日 ～11月1日	京都
千木良雅弘	日本応用地質学会平成13年研究発表会	座長	平成13年10月31日 ～11月1日	郡山
佐々恭二	第39回日本地すべり学会研究発表会	実行委員長・ 流動性崩壊特別 セッション組織 委員長	平成12年8月	神戸市
佐々恭二	日本地すべり学会関西支部シンポジウム 「流動性崩壊の発生・運動及び予測」	実行委員長	平成12年5月31日 ～6月1日	広島市
奥西一夫	シンポジウム「公共事業の検証」	組織委員長	平成12年6月	京都市
奥西一夫	シンポジウム「水害裁判とダム災害」	組織委員長	平成13年6月	京都市
奥西一夫	山地斜面、河川系、湖沼、海洋を通じての物質輸送 に関する現地討論集会	座長	平成12年11月	熊野市
奥西一夫	シンポジウム「山地斜面におけるパイプ流の実態と 斜面崩壊、地形変化に及ぼす影響」	座長	平成12年9月	東京都
福岡 浩	日本地すべり学会関西支部シンポジウム 「流動性崩壊の発生・運動及び予測」	実行委員	平成12年5月31日 ～6月1日	広島市

氏名	会議名	役職	期間	場所
福岡 浩	第39回日本地すべり学会研究発表会	実行委員会幹事・特別セッション組織委員長	平成12年8月	神戸市
福岡 浩	地すべり学会関西支部現地討論会「鳥取における大規模地すべり」	実行委員	平成12年10月11日～12日	鳥取県八頭郡
福岡 浩	日本地すべり学会関西支部シンポジウム「斜面環境の保全」	実行委員	平成13年5月31日	京都市
福岡 浩	第40回日本地すべり学会研究発表会	座長	平成13年8月	前橋市
福岡 浩	地すべり学会関西支部現地討論会「山口県における花崗岩の性状と斜面对策」	実行委員	平成13年9月13日～14日	山口県山口市・防府市
福岡 浩	地すべり学会関西支部シンポジウム「地すべり調査と対策の問題発生と対応」	実行委員	平成11年6月10日	大阪市
三村 衛	過圧密土および過圧密地盤の力学に関するシンポジウム	組織委員・座長	平成12年12月	東京
三村 衛	第55回土木学会年次学術講演会	座長	平成13年9月	熊本市
釜井俊孝	第39回日本地すべり学会研究発表会	特別セッションコンビナー・座長	平成12年8月29～30日	
釜井俊孝	第40回日本地すべり学会研究発表会	座長	平成13年8月29～30日	
乾 徹	第4回地盤改良シンポジウム	実行委員会幹事・座長	平成12年11月	大阪市立大学
立川康一	水文・水資源学会年次講演会	座長	平成10年8月	中欧大学
立川康一	第46回水理講演会	座長	平成14年3月	名古屋工業大学
立川康一	平成12年度河川災害に関するシンポジウム	座長	平成13年3月	東京工業大学
立川康一	平成13年度河川災害に関するシンポジウム	座長	平成14年3月	名古屋工業大学
間瀬 肇	海岸工学講演会	座長	平成12年	神戸市
間瀬 肇	海岸工学講演会	座長	平成13年	熊本市
吉岡 洋	2001年度日本海洋学会秋季大会	座長	平成13年月22～26日	清水市
吉岡 洋	2002年度日本海洋学会秋季大会	座長	平成14年10月1～5日	札幌市
河井宏允	風工学シンポジウム	組織委員	平成12年	
中川 一	土木学会関西支部年次学術講演会	座長	平成12年6月5日	関西大学
中川 一	日本自然災害学会年次学術講演会	座長	平成12年11月30～12月1日	大宮市民ホール
中川 一	砂防学会研究発表会	座長	平成13年5月17日	山口市民会館
中川 一	土木学会全国大会研究討論会	パネラー	平成13年10月3日	熊本大学
中川 一	土木学会全国大会	座長	平成13年10月4日	熊本大学
中川 一	日本自然災害学会年次学術講演会	座長	平成13年10月25日	北海道室蘭市室蘭工業大学
関口秀雄	第3回レオロジーフォーラム	招待講演者	平成13年10月26日	神戸市
関口秀雄	地盤工学会北陸支部講演会	招待講演者	平成13年11月7日	新潟市
石垣泰輔	日本流体力学会年次講演会	セッションオーガナイザー・座長	平成12年7月	
澤田豊明	第6回黒部川シンポジウム	組織委員・基調報告者	平成13年10月7～8日	YKK国際会議場
末峰 章	第39回地すべり学会研究発表会	座長	平成12年8月29～30日	神戸市
末峰 章	第40回地すべり学会研究発表会	座長	平成13年8月29～30日	前橋市
末峰 章	日本地すべり学会関西支部現地討論会	実行委員会委員	平成12年11月10～11日	鳥取
末峰 章	日本地すべり学会関西支部現地討論会	実行委員会委員	平成13年9月13～14日	山口
末峰 章	日本地すべり学会関西支部シンポジウム	実行委員長	平成13年5月31日	京都
林 泰一	日本風工学会	座長	平成12年5月	
林 泰一	日本気象学会	座長	平成13年5月	
山下隆男	土木学会 第47回海岸工学講演会	司会	平成12年11月7～9日	神戸市(神戸国際会議場)
山下隆男	土木学会 第48回海岸工学講演会	司会	平成13年11月13～15日	熊本(メルパルク熊本)

氏名	会議名	役職	期間	場所
山下隆男	2001年度海洋気象学会シンポジウム「沿岸海域での流れと物質輸送 -沿岸海域の環境保全と防災-	コンビナー	平成13年12月17日	神戸防災合同庁舎会議室
橋本 学	地球惑星科学関連学会特別セッション「2000年鳥取県西部地震」	コンビナー	平成12年6月5日	東京都
橋本 学	日本地震学会秋季大会特別セッション「21世紀の地震学が目指すもの：地震学の現状と将来展望」	コンビナー・座長	平成12年11月22日	つくば市
橋本 学	日本地震学会秋季大会	座長	平成13年10月24日	鹿児島市
橋本 学	日本測地学会第96回講演会	座長	平成13年10月16日	札幌市
橋本 学	行動計量学会シンポジウム「緊急事態の調査・分析-阪神淡路大震災の事例-	招待講演者	平成13年11月15日	東京都港区
橋本 学	関西地震観測研究協議会フォーラム	招待講演者	平成14年1月28日	大阪市
西上欽也	日本地震学会	座長	平成13年11月	鹿児島市
澁谷拓郎	地震学会2001年度秋季大会	座長	平成13年10月24～26日	鹿児島市
澁谷拓郎	地震学会2000年度秋季大会	座長	平成12年11月20～22日	つくば市
石原和弘	火山噴火予知研究シンポジウム	招待講演者	平成14年1月10～11日	日本学術会議講堂
井口正人	火山噴火予知研究シンポジウム	招待講演者	平成14年1月10～11日	日本学術会議講堂
味喜大介	日本火山学会2001年度秋季大会火山学セミナー「南九州の火山」	世話人	平成13年10月3日	鹿児島大学
山本圭吾	地球惑星科学関連学会2000年合同大会	座長	平成12年6月4～8日	東京都
山本圭吾	日本火山学会2000年度秋季大会	座長	平成12年9月	水戸市
神田 径	地球惑星科学関連学会2000年合同大会	座長	平成12年6月4～8日	東京都
神田 径	地球電磁気学将来計画シンポジウム	招待講演者	平成14年3月	東京都
為栗 健	地球惑星科学関連学会2000年合同大会	座長	平成12年6月4～8日	東京都
池淵周一	2000年水文水資源学会研究発表会	実行委員委員会委員	平成12年8月	京都大学/琵琶湖博物館
竹門康弘	応用生態工学会公開シンポジウム「生態学と工学の連携-総合流域管理に向けて-	招待講演者	平成14年10月4日	科学技術館サイエンスホール・東京
竹門康弘	水文・水資源学会・第4回水文・水資源セミナー「流域管理における森林・河川」	招待講演者	平成14年5月31日	中央大学駿河台記念館・東京
田中賢治	2000年水文水資源学会研究発表会	実行委員委員会委員	平成12年8月	京都大学/琵琶湖博物館
城戸由能	水分水資源学会	年会実行委員会委員	平成12年8月	京都大学
浜口俊雄	2000年水文水資源学会研究発表会	会場委員会委員	平成12年4～8月	京都大学/琵琶湖博物館
浜口俊雄	2001年水文水資源学会研究発表会	座長	平成13年8月	山梨大学
浜口俊雄	地球統計学研究委員会研究報告	招待講演者	平成13年7月	鹿島建設(東京)
浜口俊雄	農業土木学会・第11回高度技術セミナー基礎編「有限要素法による弾性構造解析・水理水質解析」	講師	平成12年7月	京都大学芝蘭会館
浜口俊雄	農業土木学会・第14回高度技術セミナー「有限要素法による土構造物の弾性構造解析」	講師	平成12年7月	京都大学芝蘭会館
小尻利治	水文・水資源学会第2回水文・水資源セミナー	実行委員・講演者	平成12年12月1日	
河田恵昭	第2回比較防災学ワークショップ	セミナー代表	平成14年2月14～15日	神戸国際会議場
河田恵昭	2000防災シンポジウムin 京都	招待講演者	平成12年11月22日	京都駅ビル劇場シアター1200
林 春男	第2回比較防災学ワークショップ	招待講演者	平成14年2月14～15日	神戸国際会議場
田中喺義	第2回比較防災学ワークショップ	招待講演者	平成14年2月14～15日	神戸国際会議場

表 8.2.4 国際学術雑誌の編集

氏名	国際学術雑誌名	役職名	出版元
岡田憲夫	Decision and Risk	編集者(平成14年)	Academic Press
鈴木祥之	Probabilistic Engineering Mechanics	編集委員会 (平成4年～)	Elsevier, Oxford, UK
林 康裕	Natural Disaster Science	副編集者	日本自然災害学会
入倉孝次郎	PEPI	ゲスト編集者	Elsevier
佐藤忠信	台湾地震工学会論文編集	副委員長	
佐藤忠信	Journal of Natural Disaster Science	欧文研編集委員長	日本自然災害学会
中島正愛	Costruzioni Metalliche	International Scientific Committee	Costruzioni Metalliche
中島正愛	Natural Disaster Science	編集委員会	Natural Disaster Science
松波孝治	Journal of Natural Disaster Science	編集委員	日本自然災害学会
澤田純男	Natural Disaster Science	副編集者	日本自然災害学会
千木良雅弘	Engineering Geology	編集者(平成11年～)	Elsevier
三村 衛	Soils and Foundations	論文報告集編集委員	地盤工学会
諏訪 浩	Journal of Natural Disaster Science	副編集者(平成11年～)	Japan Society for Natural Disaster Science
佐々恭二	Landslide News	出版委員会座長	日本地すべり学会
奥西一夫	Zeitschrift für Geomorphologie	編集委員会	Gebrüder Borntraeger・ Germany
福岡 浩	Landslide News	編集者・事務局長	日本地すべり学会
諏訪 浩	Geomorphology	編集者	Elsevier
Roy C, Sidle	Journal of Forest Research	副編集者	Japanese Forestry Society
高橋 保	International Journal of Sediment Research	編集委員	国際泥砂研究教育センター・ 北京
戸田圭一	Journal of Hydrosience and Hydraulic Engineering	編集委員	土木学会
植田洋匡	Atmospheric Environment, Part 2	編集者(平成9年～)	Pergamon Press
植田洋匡	Environmental Software, Editor	編集者 (昭和62～平成9年)	Computational Mechanics Publication
植田洋匡	Journal of Chemical Engineering, Japan	編集者(平成10年～)	化学工学会
河井宏允	Journal of Wind and Structures	国際編集委員会	Techno-Press
山下隆男	Coastal Engineering Journal	編集員	World Scientific・Tokyo・Japan
大志万直人	The Island Arc, Vol.10, Issue 3/4, 2001 特集 号"Nojima Fault Zone Probe"	ゲスト編集者	Blackwell Science Asia
林 春男	Journal of Natural Disaster Science	副編集者	日本自然災害学会
田中哮義	International J. on Performance-Based Fire Code	編集委員会	The Hong Kong Polytechnic Univ.
田中哮義	J. of Applied Fire Science	Editorial Board	Baywood Publishing Company, Inc.

8.3 国・地方公共団体への協力

「防災」という災害国日本に突きつけられた最大の課題を研究対象とする防災研究所の使命を考えれば、国、自治体、法人や民間の研究活動を支援することは、研究成果の社会還元という側面からも重要である。本章の冒頭でも記したように、国、地方自治体の防災行政を支援することも防災研究所に課せられた重要な責務の一つであり、これが防災研究所の特殊事情でもある。表 8.3.1、表 8.3.2 及び表 8.3.3 に、国、自治体、特殊法人が主催する委員会などに対する防災研究所教官の関与をまとめた。国への協力は、文部省、科学技術庁、建設省、運輸省、国土庁を始めとして 20 以上の機関に、地方自治体への協力は、京都府、京都市、宇治市、大阪府、大阪市など約 30 自治体に、また特殊法人や民間等への協力は約 60 機関にのぼっ

ている。国、特殊法人への協力は約 400、自治体への協力は 230 に達する。とりわけ、1995 年以降飛躍的に増えている。この理由の一つとして、1995 年 1 月に発生した兵庫県南部地震を契機に、国や各地方自治体では「防災計画」の抜本的見直しが図られ、その多くに防災研究所教官の協力が求められていることが挙げられる。

ただ、このように国・地方公共団体活動への協力が増えると、研究を遂行するための時間が制約されることも否めない。社会との連携としては、この種の対外活動の他に学協会活動があり、これらと研究活動とをどのようにバランスさせていくべきか、防災研究所教官に問われている重要課題である。また、委員会等の会議の方式も考える時期にきている。

表 8.3.1 社会的活動(国)

氏名	委員会・検討会名	役割	省庁名	部局名	期間
亀田弘行	外部評価委員会	委員	東京大学	空間情報科学センター	平成 13 年 12 月 1 日～14 年 5 月 31 日
岡田憲夫	国土管理情報委員会	委員	建設省	土木研究所	平成 12 年 2 月 14 日～13 年 3 月 31 日
岡田憲夫	国土と環境を考える委員会	委員	建設省	建設経済局	平成 12 年 6 月 1 日～13 年 3 月 31 日
岡田憲夫	東京大学客員教授	客員教授	東京大学	空間情報科学センター	平成 13 年 5 月 1 日～現在
岡田憲夫	防災科学技術研究所客員研究員	客員研究員	防災科学技術研究所		平成 13 年 5 月 21 日～現在
岡田憲夫	京阪神都市圏交通計画協議会パースントリップ調査委員会	委員	国土交通省	近畿地方整備局企画部広域計画課	平成 13 年 10 月～平成 15 年 3 月
岡田憲夫	総プロ「先端技術を活用した国土管理技術の開発」 国土管理情報委員会	委員長	国土交通省	(財)国土技術研究センター	平成 13 年 2 月 15 日～平成 13 年 3 月 31 日
入倉孝次郎	強震動評価部会	部会長	文部科学省		
入倉孝次郎	科学技術・学術審議会測地学分科会	臨時委員	文部科学省		
入倉孝次郎	大学評価・学位授与機構大学評価委員会	評価員	文部科学省		
入倉孝次郎	中央防災会議専門委員会	委員	内閣府		
佐藤忠信	運輸交通省・耐震基準検討小委員会	委員	運輸交通省		
澤田純男	京都国道地震防災検討委員会	委員	国土交通省	京都国道工事事務所	平成 12～13 年度
嘉門雅史	技術審議会	委員	阪神高速道路公団		平成 10 年～現在
嘉門雅史	建設技術開発会議技術政策部会	委員	建設省		平成 12～13 年

氏名	委員会・検討会名	役割	省庁名	部局名	期間
井合 進	天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会日本側専門部会	委員	(独) 土木研究所	耐震研究グループ耐震チーム	平成14年6月30日まで
井合 進	天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会専門部会	委員	建設省	耐震技術研究センター	平成13年6月30日まで
井合 進	天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会専門部会	委員	建設省	構造橋梁部	平成12年6月30日まで
井合 進	下関港山陽地区堤防(改良)に伴う環境保全対策検討委員会	委員	下関港湾局	工務課	平成13年12月28日
井合 進	科学技術推進調整費「地震災害軽減のための強震動予測マスターモデルに関する研究」研究運営委員会	委員	文部科学省	研究開発局	平成17年3月31日まで
佐々恭二	道路防災ドクター	ドクター	建設省	近畿地方建設局	平成7年～現在
高橋 保	河川審議会総合土砂管理小委員会	委員長	建設省		平成12年～現在
高橋 保	首都機能移転の火山災害に係わる検討会	委員	国土交通省	計画局	平成12年
高橋 保	富士山火山砂防基本計画検討委員会	委員	建設省	中部地方建設局	平成12年
寶 馨	水防活動の高度化に関する検討委員会	委員	建設省	近畿地方建設局	平成11年3月18日～12年3月31日
寶 馨	野洲川水循環検討委員会	委員	建設省	近畿地方建設局	平成12年3月～14年3月
井上和也	都市型水害緊急検討会	委員	国土交通省	河川局	平成12年9月～11月
高山知司	紀州灘沿岸海岸保全基本計画検討委員会	委員	和歌山県	土木部港湾空港振興局	平成13年10月～14年3月
立川康人	野洲川水循環検討委員会	委員	建設省	近畿地方建設局	平成12年3月～14年3月
吉岡 洋	海洋物質循環観測プラットフォーム委員会	委員	運輸省	海洋技術センター	平成12年12月～13年3月14日
植田洋匡	地球環境研究等企画委員会	委員	環境庁	地球環境部	平成2年～現在
植田洋匡	浮遊粒子状物質削減対策検討会	委員	環境庁	大気保全局	平成2年～現在
植田洋匡	酸性雨対策検討会	委員	環境庁	大気保全局	平成2年～現在
植田洋匡	酸性雨シミュレーションワーキンググループ	主査	環境庁	大気保全局	平成2年～現在
植田洋匡	東アジア酸性雨モニタリングネットワーク検討委員会	委員	環境庁	大気保全局	平成2年～現在
植田洋匡	地球環境モニタリング検討会	委員	環境庁	国立環境研究所	平成2年～現在
植田洋匡	スーパーコンピュータステアリング委員会	委員	環境庁	国立環境研究所	平成2年～現在
植田洋匡	地球観測委員会・地球温暖化の原因物質の全球的挙動とその影響等に関する観測研究検討委員会	委員	科学技術庁		平成6～12年
植田洋匡	生活環境審議会・廃棄物処理部会ダイオキシン対策技術専門委員会	委員	厚生省	生活環境局	平成10～12年
石川裕彦	科学技術振興調整費「風送出すとの大気中への供給量評価と気候への影響に関する研究」研究運営委員会	委員	文部科学省	研究開発局海洋地球課	平成12～14年度

氏名	委員会・検討会名	役割	省庁名	部局名	期間
中川 一	研究評価委員会土木分科会	委員	国土交通省	国土技術 製作総合 研究所	平成13年～現在
関口秀雄	工事成績評定審査委員会	委員	国土交通省	近畿地方 整備局	平成13年度
澤田豊明	浸水想定区域検討委員会	委員	国土交通省	北陸地方 整備局	平成13年～14年度
澤田豊明	奥飛騨の地域づくり 戦略検討委員会	委員	国土交通省	北陸地方 整備局	平成13年～14年度
渡辺邦彦		通商産業 省技官	通商産業省	地質調査所 地震地質部 変動解析 研究室	平成12年8月1日～13年3月31日
伊藤 潔	地震調査委員会・長期評価部会、 西日本活断層部会	委員	文部科学省	地震調査課	平成12年～現在
石原和弘	科学技術学術審議会	委員	文部科学省		平成13年～現在
石原和弘	科学技術学術審議会・火山部	会長	文部科学省		平成13年～現在
石原和弘	科学技術学術審議会・測地分科会	委員	文部科学省		平成13年～現在
石原和弘	中央防災会議・防災基本計画専門 調査会	委員	内閣府		平成13年～14年
石原和弘	火山噴火予知連絡会	委員 幹事	気象庁		平成7年～現在
池淵周一	猪名川流域委員会				
池淵周一	水資源基本問題研究会	委員	国土庁		～平成13年3月31日
池淵周一	近畿地方建設局・事業評価監視委 員会	委員	建設省		平成12年9月8日～15年3月31日
池淵周一	水資源地域対策におけるNPOとの 連携に関する検討委員会	委員	国土庁		平成12年9月12～13年3月31日
池淵周一	淀川水系流域委員会	委員	国土交通省	近畿地方 整備局	平成13年1月30日～15年1月29日
池淵周一	紀ノ川流域委員会	委員	国土交通省	近畿地方 整備局	平成13年6月7日～15年6月6日
池淵周一	九頭竜川流域委員会準備会議	委員	国土交通省	近畿地方 整備局	平成13年7月26日～14年7月25日
池淵周一	国土審議会	特別委員	国土交通省		平成13年8月1日～15年7月31日
池淵周一	「21世紀のアジアの水資源変動予 測」研究運営委員会	委員			平成14年1月30日～3月3日
竹門康弘	水源地森林機能研究会	委員	林野庁/ 国土交通省	治山課/ 河川局	平成8年7月～
竹門康弘	外来種影響・対策研究会	委員	国土交通省	河川局	平成10年1月～
竹門康弘	流況変動研究会	委員	国土交通省	河川局	平成14年3月
小尻利治	気候変動の洪水・渇水影響と 対応に関する検討委員会	委員	国土交通省	中部地方局	平成13年12月25日～15年3月31日
小尻利治	淀川ダム統管のレーダー委員会	委員			
小尻利治	中部地建河川懇談会	委員	建設省	中部地方 建設局	昭和62年度～現在
小尻利治	地下水利用検討委員会	委員	国土庁	土地・ 水資源部	平成11年度～現在
友杉邦雄	深山レーダー雨量計システム応用 研究委員会	委員	建設省	近畿地方建 設局淀川ダ ム統合管理 事務所	昭和56年度～現在

氏名	委員会・検討会名	役割	省庁名	部局名	期間
友杉邦雄	近畿地方ダム等及び琵琶湖管理フォローアップ委員会, 九頭竜川鳴鹿大堰モニタリング部会	委員	建設省	近畿地方建設局	平成11年度～現在
河田恵昭	社会環境工学研究連絡委員会	委員	日本学術会議		平成12年11月20日～15年10月20日
河田恵昭	アジア・太平洋地域に適した地震・津波災害軽減技術の開発とその体系化に関する準備の研究推進委員会		文科省		平成13年4月25日～14年3月31日
河田恵昭	天然資源の開発利用に関する日米会議・耐風耐震構造専門部会作業部会I	委員	国土交通省		平成12年7月1日～13年6月30日
河田恵昭	北陸沿岸地域海岸調査検討委員会	委員	国土交通省		平成12年2月10日～13年3月31日
河田恵昭	新・近畿長期ビジョン策定懇談会	委員	国土交通省		平成12年11月30日～13年12月31日
河田恵昭	中央防災会議専門委員会	専門委員	内閣府		平成13年3月15日～現在
河田恵昭	防災分野の研究開発に関する委員会	委員	文部科学省		平成13年6月25日～15年1月31日
河田恵昭	下新川海岸保全検討委員会	委員	国土交通省		平成13年7月30日～14年3月3日
林 春男	フロンティア研究システム地震防災フロンティア研究センター災害過程シミュレーションチーム	チームリーダー	理化学研究所		平成10年1月22日～現在
林 春男	構造物の破壊過程解明に基づく生活基盤の地震防災性向上に関する研究	委員	科学技術庁	研究開発局	平成11年8月5日～14年3月
林 春男	防災情報機構 (NPO 法人)	参与	防災情報機構 NPO 法人		平成11年11月15日～12年11月4日
林 春男	大規模災害救助研究会及び応急仮設住宅等分科会	委員	厚生省	社会・援護局	平成12年6月1日～13年3月31日
林 春男	広域巨大災害における情報通信のあり方に関する調査委員会	委員	総務省	近畿総合通信局	平成13年7月27日～14年3月31日
林 春男	科学技術・学術審議会専門委員	専門委員	文科省	研究開発局	平成13年6月25日～15年1月31日
田中哮義	天然資源の開発利用に関する日米会議 (UJNR)・防災専門部会国内部会	委員	国土交通省		平成10年12月1日～12年11月30日

表8.3.2 社会的活動(自治体)

氏名	委員会・検討会名	役割	省庁名	部局名	期間
亀田弘行	科学技術委員会	委員	兵庫県		平成12年4月1日～14年3月31日
岡田憲夫	大阪府国土利用計画地方審議会	委員	大阪府	建築都市部 総合計画課	平成11年1月～現在
岡田憲夫	大阪府住宅まちづくり審議会	委員	大阪府	建築 都市部	平成11年2月～現在
岡田憲夫	大阪府都市計画審議会	委員長代理 兼 審議会委員	大阪府	建築 都市部	平成13年8月6日～17年8月5日
岡田憲夫	大阪府建設事業再評価委員会	委員	大阪府	総務部行政 管理監室	平成12年～現在
岡田憲夫	兵庫県新道路網整備計画技術研究会	委員	兵庫県 建設技術 センター	土木部 道路建設課	平成10年4月1日～13年3月31日 平成13年9月1日～14年3月31日
岡田憲夫	三宅島道路復旧検討委員会	副委員長	東京都	建設局 道路管理部	平成13年6月13日～12月31日
岡田憲夫	京田辺市都市計画審議会	委員	京田辺市		平成13年11月22日～15年6月30日
岡田憲夫	宇治市都市計画審議会	委員	宇治市		平成11年～現在
岡田憲夫	智頭町環境円卓会議	座長	鳥取県 智頭町		平成13年2月16日～14年3月31日 平成13年10月～15年3月
鈴木祥之	京都盆地地下構造調査委員会	委員	京都市	消防局 防災対策室	平成11年～現在
鈴木祥之	滋賀県建築物耐震診断判定委員会	委員	滋賀県 建築土 事務所協会		平成12年4月26日～現在
鈴木祥之	京都市防災会議	専門委員	京都市	消防局	平成14年4月1日～15年3月31日
多々納裕一	宇治市都市計画審議会 都市マスタープラン検討部会	委員	宇治市	都市計画課	平成14～16年
多々納裕一	琵琶湖総合保全学術委員会 小委員会	委員	滋賀県	水政課	平成13～15年
入倉孝次郎	城陽市防災会議	委員	城陽市		平成13年5月1日～14年3月31日
佐藤忠信	宇治市防災会議地震対策委員会	委員長	宇治市		平成7～8年
佐藤忠信	大阪市高速鉄道建設改良技術 委員会・耐震対策専門部会	委員	大阪市		平成7年～現在
佐藤忠信	京都市被害想定検討委員会		京都市		平成13年度
田中仁史	京都府生コンクリート品質管理 監査会議	副議長	京都府		
田中仁史	京都府建築物耐震診断改修等 判定委員会	委員	京都府		
澤田純男	地震被害想定検討委員会	地震動部 会長	京都市	消防局	平成13～14年度
岩田知孝	京都市被害想定検討委員会 地震動予測部会	委員	京都市		平成13年度
嘉門雅史	大阪市土壌汚染対策専門委員会	委員	大阪市	環境保険局	平成11年～13年
嘉門雅史	大阪市環境影響評価専門委員会	委員	大阪市		平成12年～14年
嘉門雅史	PCB含有底質処分地技術検討会	委員	大阪市	港湾局	平成12年～現在
嘉門雅史	滋賀県廃棄物処理施設 生活環境影響調査審査委員会	審査委員	滋賀県		平成12年～14年
嘉門雅史	栗東町小野地先産業廃棄物 最終処分場硫化水素調査委員会	委員	滋賀県		平成12～13年
井上和也	由良川流域委員会	委員	国土交通省	近畿地方 整備局	平成11年7月～現在
井上和也	独立行政法人土木研究所 評価委員会	臨時委員	国土交通省	大臣官房	平成12年～現在
井上和也	琵琶湖研究所研究評議委員会	委員	滋賀県	環境部	平成11年～現在
井上和也	大阪府都市型水害検討委員会	委員長	大阪府	土木部	平成13年6月～現在
岩嶋樹也	環境影響審査会	委員	京都市	環境局	平成13年6月～15年6月
岩嶋樹也	環境審議会	委員	京都府	企画環境部	平成12年12月～14年12月
岩嶋樹也	京都府環境影響評価専門委員会	委員	京都府	企画環境部	平成12年12月～14年12月
中川 一	大阪府河川整備検討委員会	委員	大阪府	土木部	平成12年～13年
中川 一	大阪府河川整備委員会	委員	大阪府	土木部	平成13年～14年
澤田豊明	岐阜県北アルプス山岳遭難対策 協議会	顧問	神岡町 上宝村		平成12年～現在
林 泰一	串本町防災会議	委員	串本町	総務課	平成12～14年
古澤 保	宮崎県防災会議地震専門部会	委員	宮崎県	生活環境部	平成7年～現在

氏名	委員会・検討会名	役割	省庁名	部局名	期間
渡辺邦彦	兵庫県地域活断層調査委員会	委員	兵庫県		平成12年7月21日～13年3月31日
渡辺邦彦	鳥取県防災会議 地震災害対策部会	専門委員	鳥取県		平成13年4月1日～14年3月31日
伊藤 潔	焼岳噴火防災対策委員会	委員	岐阜県		平成13年～現在
尾上謙介	防災会議	専門委員	生駒市		平成14年5月～15年3月
石原和弘	鹿児島県防災研修センター 構想検討委員会	委員	鹿児島市	総務部	平成12年度
池淵周一	大阪府河川整備検討委員会	委員	大阪府		平成12年4月10日～14年3月31日
池淵周一	滋賀県公共事業評価監視委員会	委員	滋賀県		平成12年6月21日～14年3月31日
池淵周一	琵琶湖総合保全学術委員会	委員	滋賀県		平成12年8月29日～14年8月28日
池淵周一	奈良県河川整備委員会	委員	奈良県		平成12年12月20日～14年12月19日
池淵周一	京都府営水道事業経営懇談会	委員	京都府		～15年1月5日
竹門康弘	京都市農村振興基本計画 策定委員会	委員	京都市	農業振興 整備課	平成14年7月～現在
竹門康弘	京都市農村環境計画策定委員会	委員	京都市	農業振興 整備課	平成14年7月～現在
城戸由能	姫路市環境審議会	専門委員	姫路市		平成11～12年
城戸由能	但馬地域夢21委員会	委員 副委員長	兵庫県	但馬県民局	平成11～12年
城戸由能	みちづくり懇談会	委員	神戸市	建設局	平成12～14年
河田恵昭	愛知県災害対策懇話会	委員	愛知県		平成12年11月17日～14年3月31日
河田恵昭	愛知県水害対策検討委員会	委員	愛知県		平成12年12月25日～13年12月24日
河田恵昭	ひょうご安心人材訓練センター 構想策定委員会	委員	兵庫県		平成13年7月20日～13年12月28日
河田恵昭	明石市民夏まつり 事故調査委員会	副委員長	明石市		平成13年8月1日～10年1日
林 春男	東京都震災復興検討会議	委員	東京都	総務局	平成10年11月2日～16年10月31日
林 春男	京都市防災会議	専門委員	京都市	消防局 防災対策室 防災課	平成11年7月1日～15年3月31日
林 春男	阪神・淡路大震災メモリアルセ ンター（仮称） 設計プロポーザル選考委員会	委員	兵庫県	知事公室 防災企画課	平成12年1月29日～13年1月28日
林 春男	明日の鴨川の橋を考える会	委員	京都市		平成12年7月24日～15年3月31日
林 春男	愛知県災害対策懇話会	委員	愛知県		平成12年11月10日～14年3月31日
林 春男	愛知県水害対策検討委員会	委員	愛知県		平成12年12月25日～14年3月31日
林 春男	学校危機対応ガイドライン	委員	兵庫県	教育委員会	平成13年10月1日～14年3月31日
赤松純平	生駒市防災会議	専門委員	生駒市		平成13年5月1日～14年3月31日

表8.3.3 社会的活動(財団法人・社団法人など)

氏名	委員会・検討会名	役割	省庁名	部局名	期間
亀田弘行	安全評価研究委員会	専門委員	日本原子力研究所	東海研究所	平成13年10月1日～14年3月31日
亀田弘行	震災予防協会	評議員	震災予防協会		平成13年10月9日～15年3月31日
亀田弘行	計算科学技術委員会	委員	科学技術振興事業団	計算科学技術委員会	平成12年8月1日～14年3月31日
亀田弘行	技術審議会	委員	阪神高速道路公団		平成12年4月17日～14年3月31日
亀田弘行		評議委員	(財)道路管理センター		平成12年7月1日～14年6月30日
亀田弘行	発電炉部会PSA分科会	委員	(財)原子力発電技術機構		平成13年4月1日～15年2月28日
岡田憲夫	(財)関西文化学術研究都市推進機構学術委員会	委員	(財)関西文化学術研究都市推進機構		平成11年4月1日～15年3月31日
岡田憲夫	科学研究費委員会	専門委員	日本学術振興会	研究事業部	平成12年1月1日～14年12月31日
鈴木祥之	建築研究協会	非常勤研究員			平成11年4月1日～17年3月31日
鈴木祥之	建築研究協会	理事			平成14年4月1日～16年3月31日
鈴木祥之	防災研究協会	非常勤研究員			平成11年4月1日～15年3月31日
鈴木祥之	建築技術安全審査委員会	委員	(財)日本建築総合試験所		平成11年4月1日～16年3月31日
鈴木祥之	建築技術安全審査委員会	評価員・認定員等	(財)日本建築総合試験所		平成12年6月1日～16年3月31日
鈴木祥之	建築技術安全審査委員会	評議員	(財)日本建築総合試験所		平成13年4月1日～15年3月31日
鈴木祥之	木質構造性能評価委員会	委員長	(財)日本建築総合試験所		平成13年4月1日～現在
多々納裕一	岩盤・斜面崩壊のリスク評価・マネジメント技術検討委員会	委員	(財)道路保全技術センター	企画部	平成11年11月～13年3月
林 康裕	建築技術安全審査委員会	委員	(財)日本建築総合試験所		平成11年4月1日～16年3月31日
林 康裕	建築技術安全審査委員会	評価員・認定員等	(財)日本建築総合試験所		平成13年4月1日～16年3月31日
林 康裕	再処理安全性実証解析分科会	委員	(財)原子力発電技術機構		平成13年11月1日～15年10月31日
田中 聡	震災資料の保存・利用、及び活用方策に関する研究会	委員	(財)阪神・淡路大震災記念協会		平成13年4月1～14年3月
入倉孝次郎	強震動予測の地震防災工学分野への活用検討委員会	委員	(財)地震予知総合研究振興会		平成12年6月15日～13年3月31日
入倉孝次郎	強震動予測の地震防災工学分野への活用検討委員会	委員	(財)地震予知総合研究振興会		平成13年7月16日～14年3月31日
入倉孝次郎	耐震検討会	委員	(財)原子力発電技術機構		平成13年4月1日～14年3月31日
入倉孝次郎	強震動の定量的予測と震源の物理に関する国際WS企画運営委員会	委員	(社)科学技術国際交流センター		平成12年7月13日～13年3月31日
入倉孝次郎	固体地球統合フロンティア研究システム事前評価委員会	委員	海洋科学技術センター		平成13年1月27日～13年3月31日
入倉孝次郎	強震観測事業推進連絡会議	委員	(独)防災科学技術研究所		平成13年7月16日～15年3月31日
入倉孝次郎	レビューボード	委員	(独)産業技術総合研究所		平成13年6月20日～15年3月31日
入倉孝次郎	防災士制度水深委員会	委員	NPO法人防災情報機構		平成14年1月1日～12年31日
佐藤忠信	ガス協会ガス管更生法委員会	委員長	(財)日本ガス協会		
佐藤忠信	阪神高速道路公団耐震問題検討委員会	委員長			
佐藤忠信	CCBOX管路材試験検討委員会	副委員長			

氏名	委員会・検討会名	役割	省庁名	部局名	期間
佐藤忠信	JR耐震基準検討小委員会第1ワーキンググループ	主査			
田中仁史	RC構造評定委員会	評価員・認定員	(財)日本建築センター		
田中仁史	日本総合試験所 超高層・免震構造建築物構造性能評価委員会	評価員・認定員	(財)日本建築総合試験所		
田中仁史	ISO /TC71国内委員会	委員	日本コンクリート工学協会		
田中仁史	PC構造審査委員会	委員	日本プレハブ建築協会		
田中仁史	性能分工会/構造特別委員会	委員	日本プレハブ建築協会		
中島正愛	住宅性能評価検討技術委員会	委員	(財)ベターリビング		平成10～12年
中島正愛	免震構造評定委員会	委員	(財)日本建築センター		平成8年～現在
中島正愛	建築技術安全審査会	委員	(財)日本建築総合試験所		平成6年～現在
中島正愛	性能評価委員会(高層構造部会)	委員	(財)日本建築総合試験所		平成12年～現在
中島正愛	性能評価委員会(免震構造部会)	委員	(財)日本建築総合試験所		平成12年～現在
中島正愛	鉄骨製作工場性能評価委員会	委員	全国鉄構工業協会		平成12年～現在
中島正愛	強震動予測の防災工学分野への活用検討委員会	委員	(財)地震予知総合研究振興会		平成12～13年
澤田純男	技術審議会	専門委員	阪神高速道路公団		平成12～13年
吹田啓一郎	鋼構造接合小委員会	委員	(社)日本建築学会		平成10～現在
吹田啓一郎	施設建物計画手法検討委員会	委員兼幹事	阪神高速道路公団		平成11年～現在
吹田啓一郎	一級建築士試験委員会	委員	(社)日本建築学会		平成13年～現在
吹田啓一郎	鋼構造建築物の構造性能評価試験法研究委員会	委員	(社)鋼材倶楽部		平成12年～現在
吹田啓一郎	鉄骨製作小委員会	幹事	(財)建築技術教育普及センター		平成12年～現在
吹田啓一郎	鉄骨工事運営委員会	幹事	(財)建築技術教育普及センター		平成12年～現在
吹田啓一郎	鉄骨製作工場評価委員会	委員	(社)鉄構工業協会		平成12年～現在
岩田知孝	確率論的予測地図作成手法検討委員会	委員	(独)防災科学技術研究所		平成12～13年
岩田知孝	関西地震観測研究協議会	幹事・地震観測部会長			平成12～13年
岩田知孝	震源地地震動特性評価法調査実施委員会	委員	(財)原子力発電技術機構		平成12～13年
嘉門雅史	高谷地区地盤改良に関する技術検討会	委員長	先端建設技術センター		平成12年～現在
嘉門雅史	セメント系固化材技術委員会	技術顧問	セメント協会		平成10年～現在
嘉門雅史	都市域の地盤防災研究委員会	学識委員	建設コンサルタンツ協会 近畿支部		平成12年
嘉門雅史	セメント系固化処理土検討委員会	委員長	セメント協会		平成12～13年
嘉門雅史	岩国飛行場埋立造成・舗装研究委員会	部会員	防衛施設技術協会		平成12年～現在
嘉門雅史	北港テクノポート線技術検討委員会	委員	大阪港開発技術協会		平成12年

氏名	委員会・検討会名	役割	省庁名	部局名	期間
嘉門雅史	廃棄物埋立護岸設計・施工・管理マニュアル策定委員会	委員	港湾空間高度化センター		平成12年～13年
嘉門雅史		専門委員	土壌環境センター		平成12年～13年
嘉門雅史	鶴見川多目的遊水池土壌処理モニタリング委員会	委員長	先端建設技術センター		平成13年～現在
嘉門雅史	甲子トンネル施工技術検討委員会	委員	先端建設技術センター		平成13年～現在
嘉門雅史	ダイオキシン類等汚染の調査・分析・対策技術検討委員会	委員長	土木研究センター		平成13年～現在
嘉門雅史	廃棄物最終処分場整備の計画・設計要領作成委員会	委員	全国都市清掃会議		平成13年
井合 進	東京国際空港既設舗装直下地盤液状化対策工法検討調査委員会	委員	(財)沿岸開発技術研究センター	調査部	～平成14年3月31日
井合 進	FLIP解析技術委員会	特別会員	(財)沿岸開発技術研究センター	調査部	～平成14年3月31日
井合 進	平成13年度技術基準国際化委員会	委員	(財)沿岸開発技術研究センター	調査部	～平成14年3月31日
井合 進	平成12年度静岡空港建設技術委員会	委員	(財)沿岸開発技術研究センター	調査部	～平成13年3月31日
井合 進	連絡誘導路下構造物設計手法検討委員会	委員	(財)沿岸開発技術研究センター	第一調査部	～平成13年3月31日
井合 進	連絡施設橋梁構造検討委員会	委員	(財)沿岸開発技術研究センター	第一調査部	～平成13年3月31日
井合 進	隠岐空港技術検討委員会	委員	(財)沿岸開発技術研究センター	第一調査部	～平成12年3月31日まで
井合 進	新若戸道路技術検討WG	委員	(財)沿岸開発技術研究センター	第二調査部	～平成12年3月31日まで
井合 進	幅広フーチングケーソン技術開発検討会	委員	(財)沿岸開発技術研究センター	第一調査部	～平成12年3月31日まで
井合 進	平成12年度総合地震防災システム調査報告会・事務局		(財)沿岸開発技術研究センター	調査部	～平成13年3月31日
井合 進	海岸保全施設の技術基準解説書の検討について	メンバー	(財)沿岸開発技術研究センター	調査部	～平成12年5月31日
井合 進	関西国際空港諸施設の耐震性検討WG	メンバー	(財)沿岸開発技術研究センター	第二調査部	～平成11年3月31日
井合 進	ISO対応特別委員会	委員	(社)土木学会	技術推進機構	～平成15年3月31日
井合 進	ISO対応特別委員会・耐震設計国際規格化検討小委員会	委員長	(社)土木学会	技術推進機構	～平成15年6月27日
井合 進	地震工学委員会国際小委員会	委員長	(社)土木学会	研究事業課	～平成15年3月31日
井合 進	地震工学委員会	委員	(社)土木学会	研究事業課	平成13年4月1日～15年3月31日
井合 進	ISO/TC98分科会	委員	建築・住宅国際機構		～平成15年3月31日
井合 進	平成13年度地震工学委員会による土木学会各賞推薦選考委員会	委員	(社)土木学会	研究事業課	～平成14年3月31日
井合 進	東京湾口航路第三海堡耐震性検討委員会	委員長	(社)海洋調査協会	第一技術部	～平成14年3月31日
井合 進	平成13年度技術士試験委員	委員	(社)日本技術士会	技術士試験センター	平成13年8月31日～14年3月31日

氏名	委員会・検討会名	役割	省庁名	部局名	期間
井合 進	メカニクス・構造研究連絡委員会・地震工学専門委員会・地震動小委員会	委員	日本学術会議	学術部	～平成15年10月20日
井合 進	高圧ガス設備等耐震対策に係る基礎専門委員会	委員	高圧ガス保安協会	高圧ガス部	平成13年6月～14年3月31日
井合 進	Geotechnology for Natural Hazards 国内委員会	委員	(社)地盤工学会	総務企画課	～平成14年3月31日
井合 進	土構造物への設計用入力地震動に関する研究委員会	委員	(社)地盤工学会		平成9年4月1日～12年3月31日
井合 進	港湾構造物の耐震性調査検討委員会	委員	(社)寒地港湾技術研究センター		～平成14年3月27日
井合 進	釧路空港高盛土工技術調査委員会	委員	(社)寒地港湾技術研究センター		～平成14年3月25日
井合 進	港湾・海岸の情報管理システム構築に関する調査委員会	委員	(財)港湾空港建設技術サービスセンター		～平成12年3月31日
井合 進	東海道新幹線第1高尾山トンネル防護工施工技術委員会	委員	東海旅客鉄道(株)	建設工事部	～平成14年3月31日
井合 進	土木建築にかかる設計の基本検討委員会幹事会	幹事	(財)国土技術研究センター	研究第2部	～平成14年3月31日
井合 進	河川堤防耐震研究グループ	委員	(財)国土技術研究センター	調査第一部	～平成13年3月31日
井合 進	ガス工作物設置基準調査委員会	委員	(社)日本ガス協会	技術部	平成12年4月1日～13年3月31日
井合 進	技術基準等整備委員会	委員			
井合 進	ガス導管液状化対策調査研究特別委員会	委員	(社)日本ガス協会		
三村 衛	関西地盤情報活用協議会・地盤研究委員会	委員	関西地盤情報活用協議会		平成12～13年
三村 衛	大阪湾地盤情報の研究協議会・大阪湾地盤研究委員会	地盤変形G検査主査	大阪湾地盤情報の研究協議会		平成12～13年
三村 衛	関西空港二期管理委員会	学術委員	沿岸技術開発研究センター		平成12～13年
三村 衛	関西国際空港地盤挙動調査委員会WG	委員	沿岸技術開発研究センター		平成12～13年
三村 衛	施工過程を考慮した地盤の変形と破壊に関する研究委員会	委員	(社)地盤工学会		平成12～13年
三村 衛	地盤工学広報企画委員会	委員長	(社)地盤工学会	関西支部	平成12年
三村 衛	将来構想特定事業幹事会	幹事	(社)土木学会	関西支部	平成12～13年
三村 衛	土構造物の品質評価に関する研究委員会	委員	(社)地盤工学会	関西支部	平成13年
千木良雅弘	島根大学総合理工学部地球資源環境学科プログラム審査	審査員	日本技術者教育認定機構		平成13年11月8日～14年5月31日
千木良雅弘	深地層の研究施設における研究計画等検討部会	委員	核燃料サイクル開発機構		平成12年4月6日～14年3月31日
千木良雅弘	研究開発課題評価会	委員	核燃料サイクル開発機構		平成13年6月14日～15年3月31日
佐々恭二	善徳怒田八畝地区地すべり検討委員会	委員	(財)砂防地すべり技術センター		平成7年～現在
高橋 保	道路防災ドクター		道路保全技術センター		平成12～13年
寶 馨	都市河川の防災ソフト対策検討委員会	委員	兵庫県	神戸土木事務所	平成11～12年度
寶 馨	河川GIS構造化・標準化分科会	委員	(財)日本建設情報総合センター		平成8年7月25日～10年3月31日
寶 馨	水文水質データベース構造化・標準化分科会	委員	(財)河川情報センター		平成8年7月30日～10年3月31日
寶 馨	河川台帳磁気ディスク化指針検討分科会	委員	(財)河川情報センター		平成9年12月25日～10年3月31日
寶 馨	地球科学技術フォーラム地球観測委員会	委員、水文過程サイエンスチーム主査	(社)資源協会		平成8年9月～11年3月

氏名	委員会・検討会名	役割	省庁名	部局名	期間
井上和也	湖沼技術委員会	委員	(財) 河川環境 管理財団		平成10年7月～現在
井上和也	地下浸水検討委員会	委員	(財) 建築防災 協会		平成13年1月～14年3月
井上和也	都市型水害検討委員会	委員長	(財) 国土技術 研究センター		平成13年6月～現在
高山知司	海象観測データの解析・活用等 に関する研究会	委員	(財) 沿岸開発技 術研究センター		平成12年4月～14年3月
高山知司	災害に強い新形式構造物の開発 調査委員会	委員	(財) 沿岸開発技 術研究センター		平成12年7月～14年3月
高山知司	新世紀の港湾技術懇談会	委員	(財) 沿岸開発技 術研究センター		平成12年8月～13年3月
高山知司	環境計画研究会	委員	(財) 沿岸開発技 術研究センター		平成12年8月～13年3月
高山知司	名古屋港浚渫土砂活用方策 検討委員会	委員	(財) 沿岸開発技 術研究センター		平成12年11月～14年3月
高山知司	関西国際空港2期空港用地造成 技術研究会	委員	(財) 沿岸開発技 術研究センター		平成13年10月～14年3月
高山知司	大規模浮体構造物の研究委員会	委員	(財) 沿岸開発技 術研究センター		平成11年4月～14年3月
高山知司	大阪港大型水門適用検討会	委員	(財) 沿岸開発技 術研究センター		平成14年1月～3月
戸田圭一	鴨川治水計画研究会	委員	(財) 国土技術研 究センター		平成13年度～現在
間瀬 肇	高知港船舶動揺検討調査委員会	委員	(財) 沿岸開発技 術研究センター		平成12年
石川裕彦	計算科学技術推進専門部会	委員	日本原子力 研究所	原子力 コード研 究委員会	平成12～14年度
中川 一	好ましい河川環境に関わる 土砂水理研究会	委員	(財) 河川環境管 理財団	河川環境 総合研究 所 大阪 研究所	平成12～13年
中川 一	治水事業の評価に関する 調査研究会	委員	(財) 建設経済 研究所		平成12～13年度
中川 一	白山砂防計画検討委員会	委員	(財) 砂防・地す べり技術 センター		平成13年度～現在
中川 一	レーダ雨量計情報に関する 研究会	委員	(財) 河川情報 センター		平成13年5月15日～14年3月31日
中川 一	淀川舟運航路に関する研究会	委員	(財) 河川環境管 理財団	河川環境 総合研究 所 大阪 研究所	平成13年～平成14年3月
関口秀雄	技術賞選考委員会	委員	(社) 土木学会	関西支部	平成13年度
橋本 学	陸域震源断層の深部すべり過程 のモデル化に関する総合研究・ 陸域地震モデル分科会	委員	地震予知総合 研究所振興会		平成12年～13年
渡辺邦彦		併任	産業技術総合 研究所	地球科学 情報研究 部門	平成13年4月1日～14年3月31日
伊藤 潔	テクトニクス研究会	委員	地震予知総合 研究所振興会		平成12年～13年
石原和弘	富士山ハザードマップ 検討委員会	委員	砂防地すべり センター (内閣府)		平成13～15年
池淵周一	(社) 日本河川協会	理事			平成12年5月26日～14年5月25日
池淵周一	(財) ダム水源地 環境整備センター	研究 顧問			平成12年6月1日～14年5月31日
池淵周一	水源地生態研究会議・ 流況変動研究委員会	委員	(財) ダム水源地 環境整備 センター		平成12年10月31日～13年10月30日
池淵周一	運営審議会	委員	(社) 雨水貯留 浸透技術協会		平成12年6月26日～14年3月31日
竹門康弘	河口堰問題検討小委員会	委員	日本自然保護 協会		平成11年10月～

氏名	委員会・検討会名	役割	省庁名	部局名	期間
城戸由能	環境に配慮した消費者になるためのガイドブック編集委員会	アドバイザー	大阪府	環境農林部	平成13年
浜口俊雄	地球統計学研究会	委員兼幹事	(社)システム総合研究所		平成12年7月～16年3月
河田恵昭	他自然水辺整備研究会	外来委員	(財)建設コンサルタンツ協会		平成11年4月1日～13年3月31日
河田恵昭	高潮防災情報等のあり方研究会	座長	(財)国土開発技術研究センター		平成12年4月1日～13年3月31日
河田恵昭	事業戦略調査研究「防災と開発」検討会	委員	国際協力事業団		平成12年10月24日～14年1月31日
河田恵昭	平成13年度自然共生型水辺空間研究委員会	学識委員	(社)建設コンサルタンツ協会		平成13年5月1日～14年3月31日
河田恵昭	津波観測装置の設置ガイドライン検討委員会	委員	(財)都市防災研究所		平成13年11月1日～14年3月2日
林 春男	富士山ハザードマップ検討委員会	委員	(財)砂防・地すべり技術センター		平成13年8月7日～15年3月31日
林 春男	事業戦略調査研究「防災と開発」検討会	委員	国際協力総合研究所		平成12年10月27日～現在
林 春男	ネパール国カトマンズ盆地地震防災対策計画調査にかかる作業管理委員会	委員	国際協力事業団		平成12年11月16日～14年3月31日
林 春男	災害救護活動のあり方に関する懇談会	委員	日本赤十字社		平成13年2月1日～14年1月31日
田中哮義	建築物避難・耐火性能評価委員会	副主査	日本建築総合試験所		平成12年～現在
田中哮義	防災性能評定委員会	委員	(財)日本建築センター		平成12年～現在
田中哮義	防災計画評定委員会	委員	(財)大阪建築防災センター		平成10年6月10日～現在

8.4 国・地方公共団体・企業等との共同研究

国・地方公共団体からの受託研究は、平成12年度から14年度において、表8.4.1に示す9人の防災研究所職員による12件（内代表研究8件）であった。研究課題は、防災に関する行政システムの開発、国際的な地震・津波災害軽減に関する研究、強震動予測モデルの構築、既存建造物の耐震性調査法の開発、土石流の観測・解析、生活復興調査など防災に関する幅広い分野をカバーしている。公的資金による研究であるため、成果をわかりやすくまとめ広く認知されるよう努めることが、今後要求されるであろう。一方、民間との共同研究は、研究種目別（研究資金の出所別）に見て表8.4.2に示す40人の研究者による99件であった。研究の種別は「共同研究」「公募研究」および「委任経理金」によるものとなっている。昨年度の報告書には民間等との共同研究は「年

間1～3件に留まっている」とあるが、本年度の調査において「公募研究」という形で多くの共同研究が行われていることが明らかとなった。

以上の共同研究は、防災研究所職員が培ってきた成果が高く評価されている証左であり、今後さらに推進してゆかねばならない。防災行政を指揮する立場にある国・自治体との共同研究では、災害予知・予測技術の開発、防災力の強化に関する研究を積極的に進めるべきであり、当研究所の共同研究のテーマもそれに即したものとなっている。企業との共同研究においては、国立研究所としての使命から公共の利益に還元される内容をもった研究として展開していくことが望ましいが、今後の研究所の方向性に沿った形で戦略的に展開していく分野を設けていくことも考えられる。

表8.4.1 国・地方公共団体からの受託研究

研究者名	研究種目	研究課題名	別	年度
岡田憲夫	智頭町	安全で安心できるまちづくりのための行政情報システムの開発に関する基礎的検討	代表	11～12
岡田憲夫	理学研究所(EQTAP)	防災都市診断支援システム及び地理情報システムの開発	代表	12
亀田弘行	産学連携等研究	環境・防災時空空間情報システム基盤の日中共同研究		12～13
諏訪 浩		信濃川水系焼岳に発生する土石流の観測および解析	分担	12～13
Roy C. Sidle	Grant from British Columbia Advanced Systems Institute	Predicting the effects of innovative forestry practices on hydrologic response of watersheds in southeastern British Columbia	代表	11～13
Roy C. Sidle	JSPS Fellowship	hydrogeomorphology research at Niigata University	代表	12
Roy C. Sidle	competitive research grant from National University of Singapore	Sustainable sources of high quality water in Southeast Asia: influences of land management in headwaters	代表	13～16
高橋 保	建設省神通川水系砂防工事事務所受託研究	神通川水系焼岳に発生する土石流の観測及び解析	代表	12～13
吉岡 洋	運輸施設整備事業団	高潮・高波の防災に関する研究	分担	12～13
植田洋匡	地球環境推進費	東アジア地域の大气汚染物質発生・沈着マトリックス作成と国際共同観測に関する研究-東アジア地域の大气汚染物質の発生、輸送、変質、沈着モデル開発に関する研究-	代表	12～13
澤田豊明	建設省神通川水系砂防工事事務所受託研究	神通川水系焼岳に発生する土石流の観測及び解析	分担	12～13
林 春男	産学連携等研究費(兵庫県)	生活復興調査	代表	12～13

表 8.4.2 民間との共同研究

研究者名	種別	研究種目	研究課題名	別	年度
岡田憲夫	共同研究	電力中央研究所	余剰変化に基づく地震時需要家被害の計量化法の開発	代表	13
岡田憲夫	共同研究	防災科学技術研究所	社会システムの災害に対する強さに関するリスク分析	代表	13~17
岡田憲夫	共同研究	科学技術振興調整費 (EQTAP)	防災都市診断支援システム及び地理情報システムの開発	代表	13
岡田憲夫	公募研究	トヨタ財団	過疎地域における住民自治力の自発的成長システムに関する実践的研究	代表	11~13
岡田憲夫	公募研究	河川環境管理財団・河川整備基金助成事業	河川の環境保全を含む共同整備事業の費用配分制度に関する研究	代表	11~12
岡田憲夫	公募研究	関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団	安全性診断を考慮した都市インナー地域における木造老朽家屋の計画的更新に関する研究	代表	12~13
亀田弘行	委任経理金	西日本旅客鉄道(株)			12
鈴木祥之	共同研究	(財)京都伝統建築技術協会	「真宗本廟両堂等御修復の為の事前調査業務」のうち「各建物耐震診断」の為の予備調査	代表	12
鈴木祥之	共同研究	損害保険料率算定会	住宅の耐震性能評価方法に関する調査研究	代表	13
鈴木祥之	委任経理金	(財)防災研究協会	木造建物の耐震性に関する研究	代表	12
鈴木祥之	委任経理金		災害の防止並びに軽減に関する研究助成	代表	12~13
萩原良巳	委任経理金	関西エネルギーリサイクル研究財団	都市の防災・減災のための水循環システムの再構築に関する研究		13~14
多々納裕一	共同研究	電力中央研究所	余剰変化に基づく地震時需要家被害の計量化法の開発	分担	13
多々納裕一	共同研究	防災科学技術研究所	社会システムの災害に対する強さに関するリスク分析	分担	13~17
多々納裕一	共同研究	科学技術振興調整費 (EQTAP)	防災都市診断支援システム及び地理情報システムの開発	分担	13
		理化学研究所			12
多々納裕一	公募研究	河川環境管理財団・河川整備基金助成事業	河川の環境保全を含む共同整備事業の費用配分制度に関する研究	分担	11~12
多々納裕一	公募研究	関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団	安全性診断を考慮した都市インナー地域における木造老朽家屋の計画的更新に関する研究	代表	12~13
多々納裕一	委任経理金	損害保険料率算定会	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	11~
林 康裕	共同研究	(財)京都伝統建築技術協会	「真宗本廟両堂等御修復の為の事前調査業務」のうち「各建物耐震診断」の為の予備調査	分担	12
林 康裕	共同研究	損害保険料率算定会	住宅の耐震性能評価方法に関する調査研究	分担	13
林 康裕	公募研究	関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団	建築物被害状況の多面的記述と復旧ボトルネックの分析	代表	13
林 康裕	公募研究	大林都市研究振興財団	地域の木構造・住文化を活した震災後の生活復興支援策の研究	代表	13
林 康裕	委任経理金	大崎総合研究所		代表	12~13
入倉孝次郎	公募研究	特別研究員奨励費	強震動予測のための先端的手法の開発	代表	11~12
			地震動に対する地盤の非線形応答	代表	12
入倉孝次郎	委任経理金	日本カーネルシステム(株)	災害の防止並びに軽減に関する研究助成	代表	12
入倉孝次郎	委任経理金	(株)地球科学総合研究所	災害の防止並びに軽減に関する研究助成	代表	12
		(株)大崎総合研究所			12
		(株)東京ソイルリサーチ			13
		(株)大崎総合研究所			13
		(株)小堀鐸二研究所			13
佐藤忠信	委任経理金	応用地質	災害の防止並びに軽減に関する研究助成	代表	13

研究者名	種別	研究種目	研究課題名	別	年度
田中仁史	委任経理金	コンクリート化粧版の品質管理 (セキスイハウス)	ダインコンクリートパネルの開発	代表	13
田中仁史	委任経理金	耐震診断(新井組)	鉄筋コンクリート建物の耐震診断	代表	12
中島正愛	公募研究	鹿島学術振興財団 研究助成金	直下型地震において免震構造物が被る最大変形とその予測	代表	10~12
中島正愛	委任経理金	日建設計	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	12
		日本建築センター		代表	11~12
諸岡繁洋	委任経理金	防災工学研究助成金 (フジモリ産業㈱)	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	12
嘉門雅史	委任経理金		災害の防止ならびに軽減に関する研究助成		12
			鋼材を用いた遮水壁の拡散解析		12
三村 衛		奨学寄付金	地盤災害に関する研究	代表	12~13
佐々恭二	共同研究	受託研究	地盤災害の抑止技術の開発	代表	11~15
佐々恭二	公募研究	研究開発機構	地震時地盤崩壊災害発生機構	代表	8
佐々恭二	委任経理金	奨学寄付金	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	7~11
奥西一夫	公募研究	総合防災科学分野	急傾斜地災害に対するエネルギー輸送ラインの安全性確保に関する研究	代表	13
奥西一夫	公募研究	アジア地域重点学術 研究助成	中国四川省深山の景勝地九寨溝における環境動態研究	代表	13
高橋 保	共同研究	民間等 共同研究	河川舟運のための航路維持に関する研究	代表	13
高橋 保	委任経理金	八千代エンジニアリング㈱	土砂災害の防止及び軽減に関する研究	代表	13
高橋 保	委任経理金	㈱ハイドロソフト技術 研究所	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	13
寶 馨	委任経理金	防災研究助成金	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	12~13
寶 馨	委任経理金	防災研究助成金	気象学観点からの降雨特性の評価に関する研究助成	代表	12
井上和也	公募研究	研究助成	都市水害に関わる流域モデルの構築	代表	12
井上和也	委任経理金	防災研究助成金 (ニュージェック)	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	12~13
高山知司	公募研究	受託研究 (運輸施設整備事業団)	高潮・高波の推算技術の高度化と防災に関する基本的研究	代表	12~14
高山知司	委任経理金	防災研究助成金	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	12~13
立川康人	公募研究	河川情報センター 研究開発助成	河川水位実時間予測手法の構成に関する研究	代表	9~10
立川康人	委任経理金	防災研究助成金	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	12~13
間瀬 肇	委任経理金		災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	12
間瀬 肇	委任経理金	研究奨学金	不規則波によるステム波の数値解析手法の研究助成	代表	13
吉岡 洋	委任経理金	防災研究助成金	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	分担	12~13
河井宏允	委任経理金	電気興業㈱	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	12
		㈱きんでん			13
		㈱風技術センター			13
		三菱電機㈱			13
		通信機製作所			13
		㈱ユアサ			13
エルプラン	13				
丸山 敬	共同研究	産学連携等研究費	年平均風速期待値の予測方法に関する研究	代表	12~13
丸山 敬	公募研究	能村膜構造技術振興 財団・助成金	膜構造物に加わる風荷重に対する自然風の乱流性状の影響に関する研究	代表	13
丸山 敬	委任経理金	国際気象海洋㈱	災害の防止ならびに軽減に関する研究	代表	12~13
中川 一	共同研究	区分B	河川舟運のための航路維持に関する研究	代表	13

研究者名	種別	研究種目	研究課題名	別	年度
中川 一	公募研究	運輸施設整備事業団	運輸分野における基礎的研究推進制度、高潮・高波の推算技術の高度化と防災に関する基礎的研究	分担	12～14
中川 一	公募研究	CREST	社会変動と水循環の相互作用評価モデルの構築	分担	13～17
中川 一	公募研究	振興調整費	都市複合空間水害の総合減災システムの開発に関する研究	分担	12～15
中川 一	委任経理金	研究助成金 (パンフィック コンサルタント株)	災害の防止ならびに軽減に関する研究	代表	12
中川 一	委任経理金	研究助成金 (土木学会)	土砂生産と生産量の観測と評価に関する研究	代表	13
中川 一	委任経理金	研究助成金 (株ニュージェック)	災害の防止ならびに軽減に関する研究	代表	13
関口秀雄	委任経理金	鋼材倶楽部	防災工学研究、東アジアにおける堤防補強工法に関する研究	代表	12
関口秀雄	委任経理金	日本鉄鋼連盟			13
関口秀雄	委任経理金	東洋建設	防災研究、波浪-地盤-構造物の相互作用に関する研究	代表	13
関口秀雄	委任経理金	八千代エンジニアリング株	防災研究、複雑流体のダイナミクスと防災学への適用	代表	13
石垣泰輔	委任経理金		災害の防止ならびに軽減に関する研究	代表	14
澤田豊明	公募研究	河川環境管理財団・ 河川整備基金助成事業	山地河道における土砂動態観測システム	分担	12
山下隆男	公募研究	(財) 平和中島財団外国人研究者等招致	Beach Restoration in Japan's Coasts : Feasibility Study on Soft Beach Formation by Sand-Fill	代表	13
山下隆男	公募研究	京都府環日本海交流促進研究助成金	日本海沿岸の砂浜海岸の防災と環境保全に関する日韓共同研究	代表	13
山下隆男	委任経理金	八千代エンジニアリング株	湾内流況および漂砂解析に関する研究助成	代表	13
山下隆男	委任経理金	八千代エンジニアリング株	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	13
上野鉄男	委任経理金	出雲グリーン株	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	12～13
大志万直人	委任経理金	奨学寄付金	地磁気全磁力地点補正に関する研究	代表	12～
大志万直人	委任経理金	奨学寄付金	兵庫県北部地域における地殻深部比抵抗構造の不均衡性に関する研究	代表	13～
渡辺邦彦	委任経理金	防災工学研究助成金	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	13
石原和弘	委任経理金	防災工学研究助成金	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	12～13
井口正人	委任経理金	防災工学研究助成金	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	12
竹門康弘	委任経理金	河川環境管理財団・ 河川整備基金助成事業	深泥池における外来動植物の影響評価と市民参加による駆除対策	代表	14～16
城戸由能	公募研究	日産科学振興財団	自然-人間系、水分・水質循環の共同集中観測と予測モデル開発	分担	12～14
友杉邦雄	公募研究	河川環境管理財団・ 河川整備基金助成事業	試験研究、地球温暖化の影響を考慮した流域環境評価と総合流域管理の策定	分担	11～12
河田恵昭	共同研究	受託研究・ 産学連携等研究費	都市型水害に関するシミュレーション解析	代表	13～14
河田恵昭	委任経理金	防災研究助成金	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	13
林 春男	委任経理金	防災研究助成金	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	13
高橋智幸	委任経理金	防災研究助成金	災害の防止ならびに軽減に関する研究助成	代表	13

8.5 公開講座・講演会・研修会 ・セミナー

防災研究所公開講座

防災研究所では1990年度より毎年夏に研究所主催の公開講座を開催している。これは、研究成果の社会還元の一環として行われているものであり、2000年～2001年度の開催プログラムを表8.5.1に示す。2000年度のテーマは「21世紀の近畿地方の防災—環境としての防災—」、2001年度は「21世紀の近畿地方の防災—都市と防災—」をテーマに行われた。本公開講座は参加者の便を考慮して大阪市内に会場を設定している。参加者の職種は、主に地方公共団体の行政官および関連法人職員、ゼネコン・コンサルタント職員である。これは、行政、産業界のいずれにおいても研究面からの支援を必要とされていることのあらわれである。また、一般市民・学生の参加もあり、防災研究における最先端を披露するユニ

ークな機会となっている。参加者数は1994年以降、180名、423名、325名、190名、210名、250名で、2000年度は186名、2001年度は128名であった。本講座は公開講座とはいえ、参加者は自然災害および防災に興味・関心のある人々がほとんどであるため、大災害が起きない限り参加者の増加は見込めない。また最近では他の研究機関においても、公開講座・シンポジウムを開催しており、企画が林立する傾向にある。この種の企画を行う際の多大な労力、費用、参加者数の見積もり、企画自体の独自性・有用性などもあわせ考えると、そろそろ新機軸を打ち出すべき時にきているのではないかと思われる。例えば、他の研究機関ですでに行われていることではあるが、将来を担う小中学生、高校生に防災に関する実験をやって見せ、研究の一端を紹介する「出前講義」を行うことなどは一見地味ではあるが、長期的視野に立てば有意義であろう。

表 8.5.1 防災研究所公開講座プログラム

平成12年度プログラム
研究レビュー 自然災害科学の研究は終わったのか？—地震災害を中心として— 水災害について—豪雨と都市水害— 突発災害調査速報 ベネズエラ土砂災害 有珠山・三宅島噴火災害 東海豪雨災害 地震災害について—新世代の耐震設計法への課題— 土砂災害について—人工地盤の変状と対策— パネルディスカッション—21世紀の防災研究のあり方—
平成13年度プログラム
都市における強風災害 都市水害とその課題 突発災害調査報告 インド西部地震 鳥取西部・芸予地震 地質的要因から見た斜面災害の局面化 局所被災の社会科学—被災した社会心理研究者の体験整理— パネルディスカッション—災害の局所化はどうしたら防げるか—

講演会・研修会

防災研究所の職員は、防災研究所が主催する公開講座に加えて、学会や自治体、企業などが主催する一般向けの講習会やセミナーに積極的に参画している。表 8.5.2 に示すように、平成 12 年度～14 年度にかけて、防災研究所職員（21 人）が行った一般向けの講習会は 70 件である。講演題目は地震防災関連が約 3 分の 2 を占め、感心の高さが伺える。また表

8.5.3 は同職員（20 人）が行った、実務者向けの研修会 43 件をまとめたものである。研修会の題目は地震、地すべり、砂防、一般防災など多岐にわたり、研究所の職員構成の多様性が現れている。日本各地で行われる講演会・研修会に積極的に参加することは、研究所の活動度を示す重要な指標となるので、今後とも積極的に推進すべきである。

表 8.5.2 講演会

氏名	プログラム・「演題」	開催場所	開催日時
亀田弘行	京都大学宇治キャンパス公開 2000・21 世紀のサイエンス—持続可能社会を目指して—「日本の地震災害と関西の地震防災」	京都大学宇治キャンパス	平成 12 年 10 月 28 日
亀田弘行	第 15 回「大学と科学」公開シンポジウム「ここまでわかった都市直下地震」	東京有楽町・朝日ホール	平成 12 年 11 月 1 日
亀田弘行	科学研究費特定領域研究(A)「都市直下地震による災害の防止に関する基礎研究」(領域代表:京都大学工学研究科・土岐憲三)		
亀田弘行	和歌山市水道局第 43 回水道週間・講演会「ライフラインの地震対策—過去の震災に学ぶ—」	和歌山市民会館	平成 13 年 6 月 14 日
亀田弘行	(社)近畿建設協会・国土交通省近畿地方整備局・防災とボランティア週間・講演会「耐震技術の系譜—災害の教訓と実践—」	大阪御堂会館	平成 14 年 1 月 18 日
林 康裕	京都大学防災研究所・公開講座「鳥取県西部地震・芸予地震—木造家屋被害調査—」	建設交流館 グリーンホール	
入倉孝次郎	中津川市防災講演会「地震と震災」・講師	中津川市健康福祉会館	
入倉孝次郎	地震防災フォーラム'01「南海地震と東南海地震の強震動」・講師	建設交流館	
入倉孝次郎	地震防災フォーラム'02「東南海・南海地震による揺れの予測」・講師	建設交流館	
入倉孝次郎	「地震動予測地図ワークショップ地震動予測地図の現状」・講師とパネリスト	ココヨホール	平成 14 年 3 月 29 日
入倉孝次郎	地震動予測地図の試作版（地域限定）説明会「地震動予測地図の作成と実用化」・講師	家の光大会議室	
入倉孝次郎	大阪府防災講演会		平成 14 年 2 月 12 日
入倉孝次郎	第 2 回地震調査研究と地震防災工学の連携ワークショップ「特定の活断層を起震断層とした強震動の評価手法」・講師とパネリスト	損保会館	平成 13 年 3 月 21 日
入倉孝次郎	第 3 回地震調査研究と地震防災工学の連携ワークショップ		平成 13 年 3 月 25 日
入倉孝次郎	日本地震工学会「兵庫県南部地震以降の地震防災—何が変わったか、これから何が必要なのか—想定される地震動」・講師	京都大学土木総合館	平成 14 年 1 月 25 日
入倉孝次郎	地震予防協会「東海地震を考える」・講師		
入倉孝次郎	関西地震観測協議会 地震防災フォーラム'01「最近の関西の地震事情について」・講師	建設交流館	平成 14 年 1 月 28 日
入倉孝次郎	日本地震学会・第 1 回講習会「強震動予測—その基礎と応用—強震動予測における震源の取り扱い」・講師	学士会館	平成 13 年 10 月 16 日
入倉孝次郎	宇治市市民大・終了式・講師	宇治市生涯学習センター	平成 14 年 1 月 19 日
中島正愛	日本鋼構造協会関西支部・講演会「日米における大震災後の柱梁接合部耐震対策の動向」・講師	大阪	平成 13 年 10 月

氏名	プログラム・「演題」	開催場所	開催日時
中島正愛	日本地震工学会・講演会「兵庫県南部地震以降の地震防災―何が変わったか、これから何が必要なのか―」・講師	京都	平成14年1月
澤田純男	実務者のための耐震設計入門「断層を想定した強震動の予測と設計地震動」	福岡市	平成12年10月11～12日
澤田純男	ライフライン研究会・入門講習会「地震学入門」	大阪市	平成13年11月8日
吹田啓一郎	「鋼構造接合部設計指針」(柱梁接合部・パネル・ブレース)	福岡建設会館	平成14年11月20日
吹田啓一郎	「鋼構造接合部設計指針」(柱梁接合部)	建設交流館	平成14年11月27日
井合 進	地震工学委員会・国際小委員会・活動報告「ISOへの対応と今後の予定」	司法書士会館ホール	平成14年4月26日
井合 進	平成13年度第11回土木工学研究会・講演会	東京大学工学部	平成14年3月7日
井合 進	第7回国共備基地安全防災技術交流会	ステーションホテル 小倉会議場	平成13年10月17日
井合 進	港湾構造物の耐震設計国際ガイドライン講演会	京都大学防災研究所	平成13年12月13日
井合 進	「安心・安全に暮らせる街をめざして―これからの地震防災技術―」	川崎市産業振興会館	平成14年2月1日
井合 進	レベル2地震に対する地盤・基礎構造物の耐震設計講習会「港湾構造物の耐震設計法」	中央大学駿河台記念館	平成13年10月10日
井合 進	「耐震基準の国際標準化の動向」	(社)建設コンサルタント 協会近畿支部	平成13年7月17日
千木良雅弘	第12回京都大学防災研究所・公開講座「地質的要因から見た斜面災害の局所化」	京都	平成13年11月22日
千木良雅弘	南アルプスの巨大崩壊	飯田市美術博物館	平成13年11月18日
千木良雅弘	日本地すべり学会北海道支部・総会「斜面構成岩石の自己解体システム―花崗岩と火砕流堆積物の例―」・特別講演	札幌	平成13年4月20日
佐々恭二	日本地すべり学会関西支部・シンポジウム「流動性崩壊の発生・運動及び予測」・特別講演	広島市	平成12年5月31日 ～6月1日
丸山 敬	風災害フォーラム「最近の強風災害の傾向」	建築会館ホール	平成12年11月6日
丸山 敬	第12回京都大学防災研究所・公開講座「都市における強風災害」	建築交流会館 グリーンホール	平成13年11月22日
中川 一	4th International Conference on Hydroinformatics 「Simulation of evacuation action of residents using GIS」	米国アイオワ州・ Collins Plaza Hotel and Convention Center	平成12年7月26日
中川 一	2nd International Conference on Debris-flow Hazards Mitigation 「A debris flow disaster on the fan of the Harihara River, Japan」	台湾台北・International Convention Center	平成12年8月16日
中川 一	第19回日本自然災害学会・学術講演会「1999年ベネズエラで発生した洪水によるカムリグランデ川での土砂の流出・氾濫・堆積過程」	埼玉県大宮市市民ホール	平成12年11月30日
中川 一	京都大学防災研究所・研究発表講演会「1999年ベネズエラのカムリグランデ流域で発生した土砂災害について」	京都リサーチパーク	平成13年2月23日
中川 一	平成13年度砂防学会・研究発表会「数値シミュレーションによる砂防施設効果の評価」	山口市民会館	平成13年5月17日
中川 一	2nd IAHR Symposium on River, Coastal and Estuarine Morphodynamics 「Reproduction of flooding and deposition processes of debris flow on the fan of the Camuri Grande river, 1999, Venezuela」	北海道帯広市・十勝プラザ	平成13年9月10日
中川 一	第20回日本自然災害学会・学術講演会「砂防施設の効果の評価法に関する一考察」	室蘭工業大学	平成13年10月26日
中川 一	京都大学防災研究所・年次発表講演会「2001年7月台湾で発生した土砂災害」	京都リサーチパーク	平成14年2月22日

氏名	プログラム・「演題」	開催場所	開催日時
石垣泰輔	「桂川中下流の伝統的な巢水害対策」	亀岡市亀岡会館	平成 14 年 6 月 15 日
林 泰一	防災講演会「地球の気温はどう決まる」	串本町文化センター	平成 14 年 4 月
山下隆男	大潟町講演会「大潟海岸に学ぶ」第 20、21、22 回	新潟県中頸城郡 大潟町町民会館	平成 12、13、14 年度
山下隆男	白浜海象観測所・研究講演会	和歌山県西牟婁郡 白浜町公民館	平成 12、13、14 年度
橋本 学	建築物防災講演会「今世紀の近畿地方の地震災害について―せまりくる東南海・南海地震―」	大阪市	平成 14 年 3 月 7 日
大志万直人	日本応用地質学会関西支部・平成 13 年度総会・講演会・パネルディスカッション「電磁気地震学による地震予知の現状と展望」・パネリスト	大阪市立大学 文化交流センター	平成 14 年 6 月 8 日
渡辺邦彦	「山崎断層について」	兵庫県夢前町	平成 12 年 3 月 27 日
渡辺邦彦	「山崎断層について」	兵庫県安富町	平成 12 年 6 月 7 日
渡辺邦彦	「山崎断層と地震予知」	山崎町防災センター	平成 12 年 9 月 3 日
渡辺邦彦	「西日本の地震活動活発化と山崎断層」	加西市消防署	平成 13 年 5 月 31 日
渡辺邦彦	「西日本の地震活動は活発化したか―山崎断層と地震防災について考える―」	姫路市民会館大ホール	平成 13 年 11 月 3 日
石原和弘	日本火山学会・公開講座「桜島の火山活動と防災」	鹿児島市山下分庁舎	平成 13 年 9 月 30 日
石原和弘	桜島中学校日曜参観・親子講演会「桜島の今昔」	桜島中学校	平成 13 年 6 月 17 日
石原和弘	鹿児島県火山フォーラム・イン・硫黄島「離島火山」	三島村開発センター	平成 12 年 10 月 21 日
石原和弘	水路部創立 130 周年記念講演「離島火山の火山活動と噴火予知」	第十管区海上保安本部	平成 13 年 9 月 12 日
竹門康弘	下水道新技術推進機構主催『生態系との共生をはかる下水道のあり方検討会』・特別講演「カゲロウの棲める川をとりもどすために―河川生態系からみた下水処理水の意義と活用方法について―」	東京・池袋	平成 13 年 3 月 22 日
河田恵昭	平成 12 年度大阪府防災講演会	大阪府立 女性総合センター	平成 10 年 11 月 17 日
河田恵昭	第 3 回えひめ防災講演会	テレビ愛媛本社	平成 13 年 1 月 31 日
河田恵昭	防災講演会	名古屋市中区役所ホール	平成 13 年 9 月 11 日
河田恵昭	県民防災塾	三重県志摩庁舎会議室	平成 13 年 12 月 7 日
林 春男	西区防災講演会	大阪市立中央図書館	平成 12 年 10 月 24 日
林 春男	地震防災ネットワーク	京都市 WITH YOU	平成 12 年 11 月 15 日
林 春男	防災講演会	静岡県	平成 13 年 11 月 8 日
林 春男	防災とボランティアの日記念講演	広島 YMCA 国際文化ホール	

表 8.5.3 研修会・セミナー

氏名	プログラム・「演題」	開催場所	開催日時
岡田憲夫	JICA 研修「Environmental Risk Management」		平成 12 年度
岡田憲夫	JICA 研修「Integrated Urban Disaster Risk Management」		平成 13 年度
鈴木祥之	協同事業体・全国交流会研修「木構造と木造文化の再生」・招待講演者	コミュニティー嵯峨野	平成 13 年 7 月 1 日
鈴木祥之	新建築家技術者集団・秋の連続木構造勉強会「木造建物の耐震性能について」	ハートピア京都	平成 13 年 11 月 16 日
鈴木祥之	大和ハウス工業㈱・総合技術研究所月次教育「建築物の性能評価と検査制度」	大和ハウス工業㈱ 総合技術研究所	平成 12 年 12 月 6 日
多々納裕一	「災害リスクマネジメント研究:課題と展望」	実践詩文研究会 建築技術研究所	平成 13 年 12 月 19 日
林 康裕	「防災とまちづくりについて」	近畿地方整備局・ 近畿技術事務所・研修棟	平成 13 年 12 月 4 日
入倉孝次郎	地震工学研修「Strong motions and seismic hazards course」	筑波	
中島正愛	AW 検定協議会・西日本総会「溶接施工に関する日米比較」・講師	大阪	平成 11 年 5 月
中島正愛	三菱重工業高砂研究所・研修会「ハイブリッド実験の新しい展開」・講師	兵庫	平成 12 年 8 月
中島正愛	大阪府防災協会・講習会「1999 年台湾地震報告」・講師	大阪	平成 12 年 2 月
中島正愛	竹中工務店・研修会「ノースリッジ地震後の米国鋼構造耐震設計の動向」・講師	大阪	平成 12 年 5 月
中島正愛	「日米における大震災後の柱梁接合部耐震対策の動向」・講師	(財)日本溶接技術 センター	平成 14 年 1 月
中島正愛	日本建築学会大会建築教育連絡協議会 PD (JABEE 技術者教育認定審査「試行」実施・中間報告)・パネラー	東京	平成 13 年 9 月
中島正愛	鋼構造接合部設計指針講習会・講師	大阪	平成 13 年 11 月
中島正愛	鋼構造接合部設計指針講習会・講師	高松	平成 13 年 12 月
嘉門雅史	「地盤汚染の現状とその対策」	KKR ホテル大阪	平成 13 年 7 月 27 日
千木良雅弘	「斜面災害の研究概要」	京都地方気象台	平成 13 年 3 月 5 日
佐々恭二	地すべり防止技術研修「高速地すべりの運動予測について」	東京・全国建設研修 センター	平成 7 年～11 年 5 月 の第 3 週に毎年実施
植田洋匡	JICA 酸性雨のモニタリングと対策技術研修事業 「Transport and diffusion of Air Pollutants」および 「Numerical model of Air Pollution and Acid rain」・ 講師	神戸	平成 12、13 年
石川裕彦	防災実務者セミナー	京大会館	
中川 一	「土石流のハード・ソフト対策効果の評価に関する一考察」	巨大災害研究センター	平成 13 年 2 月 9 日
中川 一	「土石流のハード対策効果の評価に関する一考察」	阪大工業会館 (近鉄堂島ビル 20F)	平成 13 年 5 月 21 日
末峯 章	平成 13 年土木技術研修会「徳島県の破碎帯地すべりーその移動特性、防災上の注意ー」	池田町体育館 2F 会議室	平成 13 年 7 月
橋本 学	災害緊急時対策研修会「伊豆・東海そして南海-21 世紀の地震災害を考えるー」	静岡市	平成 12 年 11 月 25 日
橋本 学	宮崎県防災研修会「阪神・淡路大震災に学ぶこれからの地震防災」	宮崎市	平成 13 年 1 月 12 日
橋本 学	消防実務講習会「地震観測と予知研究」	神戸市	平成 13 年 10 月 31 日
橋本 学	上級防火管理講習会防災講演会「東海地震と南海地震」	大阪市	平成 14 年 3 月 6 日
渡辺邦彦	「活発化する西日本の地震活動と山崎断層」	姫路市幹部講習会	平成 13 年 6 月 4 日
渡辺邦彦	「西日本の地震活動と山崎断層」	兵庫県安富町議会	平成 13 年 6 月 13 日

氏名	プログラム・「演題」	開催場所	開催日時
許斐 直	那賀川町ボランティアグループ「そよかぜ」28名、観測所見学、地震について約1時間説明、所内案内は近藤技官	徳島観測所	平成13年8月22日
石原和弘	高等学校—物理・化学・生物・地学「科学の最先端」	鹿児島県総合教育センター	平成13年8月6日
竹門康弘	応用生態工学研究会「生態学リサーチマネジメントをアシストする勉強会」・コメンテーター	東京・都市センターホテル	平成13年6月16～17日
河田恵昭	第6回実務者セミナー	京大会館	平成12年8月2～4日
河田恵昭	部課長研修会	岩手県民会館	平成12年10月31日
河田恵昭	防災安全研修会・ひょうご防災カレッジ	神戸市教育会館	平成12年11月20日
河田恵昭	第7回実務者セミナー	ばるるプラザ京都	平成13年10月3日～5日
河田恵昭	政策研修	国土交通省 国土交通大学	平成13年5月30日
河田恵昭	防災安全研修会	鹿児島県	平成13年8月30日
林 春男	第6回実務者セミナー	京大会館	平成12年8月2～4日
林 春男	防災教育・災害時の心の健康に関する中央研修会	オリンピック記念青少年スポーツセンター	平成12年8月21日
林 春男	中堅職員研修会	大阪薬業年金会館	平成13年2月21日
林 春男	第7回実務者セミナー	ばるるプラザ京都	平成13年10月3日～5日

各部門・研究センターが開催する

シンポジウム・セミナー

表 8.5.4 は防災研究所の各部門・研究センターが開催した国際会議・シンポジウムを、また表 8.5.5 は各部門・研究センターが定期的に主催するセミナーをまとめたものである。防災研究所各部門・研究センターの特色を活かしたシンポジウムやセミナーを積極的に行っている。例えば、地震災害研究部門では、「日本におけるイタリア年」事業の一環として、日本とイタリアの研究者共同の地球科学・防災セミナーを主催した。また、巨大災害研究センターでは

「比較防災学」と題して、様々な角度から生活と防災の関係について比較・検討し、防災について新たな視点で考える場を一般市民に提供した。

防災研究所が全国共同利用研究所として、また国際社会において、災害・防災研究の中核研究機関としての役割を果たすためにも、この種のシンポジウム・セミナーを今後とも積極的に企画してゆくことが望ましい。そのためには、企画・広報のプロを採用または外部に委託し、現在研究員が行っている企画・広報・会場手配などの負担を軽減する必要がある。

表 8.5.4 各研究部門・センターが主催する国際会議・シンポジウム

部門名	国際会議 シンポジウム名	日程	場所	参加人数 ○は 国外者	概要
地震災害研究部門	Earth Science and Natural Disaster Prevention - Japan-Italy Joint Meeting 2001	平成13年 12月3～4 日	京都 大学 防災 研究所	75	日本における「イタリア年」事業の一環として、イタリア共和国大使館の講演を受け、京都大学防災研究所が主催した日本-イタリア科学セミナーである。地震活動、火山活動、地震による災害、都市防災、耐震設計などを主題とし、日本とイタリアから計10名が、現状報告を含め最近の話題と今後の展望を講演した。
地震予知研究センター	US-Japan Workshop on Foreshocks and Rupture Initiation	平成12年 10月3～6 日	平安 会館	33(13)	「地震の始まりと前震の関係」に関して、アメリカ、日本から26の発表と、ディスカッションを行った。
巨大災害研究センター	比較防災学ワークショップ	平成13年 1月18～ 19日	神戸市	200(5)	「みんなで防災の知恵を共有しよう」をテーマに、さまざまな角度から生活と防災の関係について比較・検討する場を作ろうという試みを行った。地域の比較、時間の比較、季節の比較、立場の比較、年齢の比較、男女の比較などさまざまな比較が可能である。自分なりの比較の視点を持つことで防災についての新しい発見が生まれるように、これまでのワークショップとは違い、会場内で自由に活発な議論や意見交換を行った。
巨大災害研究センター	第1回都市複合水害ワークショップ	平成14年 2月13日	神戸市	40(8)	平成13年度より採択された科学技術振興調整費「都市複合空間水害の総合減災システムの開発に関する研究：代表 河田恵昭」における1年目の研究成果発表を行った。また海外から研究者を招聘し、各国における水害事例や対策について報告および討論を行った。

表 8.5.5 各研究部門・センターが定期的に主催するセミナー

部門名	セミナー名	開催頻度	参加人数	対象とする聴衆
総合防災研究部門	IMDR-DPRI Open Seminar (総合防災公開セミナー)	10回/年	10~15	当該部門教官および学生、防災研教官、研究者、学生その他外部の研究者、市民にも公開している
	総合防災合同ゼミ	1回/年	30~40	当該部門全教官(外国人客員教授、外国人共同研究者も含む)および全学生
地盤災害研究部門	岩石の風化に関するシンポジウム	1回/年	50	研究者と技術者
地震予知研究センター	地震予知研究センター定例研究会	11回/年		学生、センター職員
火山活動研究センター	火山研究セミナー	約24回/年	10~15	センター教官・院生、鹿児島大学教官、鹿児島地方気象台職員、地磁気観測所職員
水資源研究センター	水資源セミナー	1回/年	30~50	基本的に研究者が対象となるが、大学関係者のみならず、民間企業や国や地方自治体など実務者も含まれる
巨大災害研究センター	地域防災計画実務者セミナー	1回/年	100	自治体の防災関係職員
	大規模災害対策セミナー	1回/年	400	一般、国・自治体職員、ライフライン企業関係者
	災害対応研究会	1回/年	400	一般
	フォーラム災害を観る	4回/年	30/回	災害対応研究会委員(大学研究者、医療関係者、ライフライン企業関係者、マスコミ関係者、自治体職員、一般企業)
	DRS セミナー	1回/2年	100	災害情報に関心をもつ研究者、自治体職員、ライフライン企業関係者
	20xx年花折地震災害からの復興シナリオ・プランニングワークショップ	12回/年	50/回	センター教官、学生
	メモリアル・コンファレンス・イン・神戸	1回/年	50	防災関係研究者、自治体の防災関係職員、学生

8.6 出版・報道関係の活動

防災研究所年報

防災研究所の活動、研究成果を報告する中核的出版物が「防災研究所年報」である。毎年1回4月に出版するもので、3分冊（A、B-1、B-2）から構成されている。分冊Aには、当該年度退官教官の最終講義録と業績リスト、当該年度における主要な災害に関する特別寄稿、公開講座におけるパネルディスカッションの記録などを掲載している。分冊B-1とB-2は、防災研究所常勤研究官、非常勤教官、所外「研究担当者」の寄稿した研究論文、調査資料をまとめたものである。その内容は、防災研究所年次発表会で発表して議論、討議を経たものである。2000年度（第43号）は69件、2001年度（第44号）は76件の研究成果がまとめられている。「防災研究所年報」は、研究所常勤・非常勤教官、研究担当者などに配布するほか、国内外の研究機関などに約500部（内、国外40部）寄贈し、研究成果の普及に努めている。

「防災研究所年報」は研究所創設以来、研究所の成果公表の任にあたってきた。本研究所での研究活動の全貌をまとめて公表することや研究成果の速報性など「防災研究所年報」がもつ意義は非常に高い。しかし、近年「査読つき論文」の数が業績評価の重要な尺度になってきており、「査読つき論文」としての評価を受けない「防災研究所年報」への研究所職員の投稿意欲を低下させている。そのため長期的展望にたった年報の位置付けを議論すべき時にきているという意見もある。しかし、たとえ業績評価には入らなくとも防災研究所に関わる研究者として、質の高い論文を「防災研究所年報」に投稿することは義務だという認識をもつべきであろう。改革案としては、論文賞を設け、受賞者専用の駐車場を設置する、特別な予算配分で優遇する、防災研究所ホームページに横顔を紹介するなど投稿意欲を喚起する案があげられる。また投稿する際に使用した生データや解析結果を他の研究者が追試を行える程度まで公開することは、質の高い無査読論文を目指す上で必要であろう。

これとは別に、防災研究所教官の所外発表論文リ

ストと論文梗概を時間遅れなしに公開する必要がある。こうすることにより、研究所や部門の活動だけでなく、個々の研究者の活動を公開することができる。

防災研究所ホームページ・ニュースレター

防災研究所全体の活動や研究成果をいち早く発信するために、1994年度からニュースレター「DPRI News Letter」を年3〜4回発行している。国際共同研究や、海外の関心が高い研究課題については、その内容を英文記事にして発行している。特に1995年の兵庫県南部地震の一ヵ月後に発行された「阪神大震災特集号（英文）」は海外でも大きな反響を呼んだ。最近では「ニューヨーク同時多発テロ事件調査研究」（2002年8月号）、「火星の地すべり」（2002年2月号）など、研究者以外の読者にも興味深くわかりやすい紙面づくりがなされている。

防災研究所ホームページ

1996年より防災研究所ホームページ（<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp>）を開設しており、対外向けには行事予定、各研究部門の案内、共同研究の募集、防災研究所年報、本自己点検評価報告書、DPRI News Letter、教官の公募案内など多岐にわたる情報を発信している。防災研究に関わる研究機関として、発信する情報を比較的定常なもの、突発的な災害情報などに分け、発災直後に予想される世界各地からのアクセスに対して情報提供ができれば、さらに研究所のプレゼンスを高めることができるであろう。そのためには、突発的な災害情報を担当する部門を発災後速やかに設け、防災研究所のホームページから担当部門へリンクを張ることができる体制を整える必要がある。

防災研究所研究部門・研究センターが編集する出版物

研究所としての広報は「防災研究所年報」、「DPRI News Letter」、「防災研究所ホームページ」であるが、それとは別に各研究部門・研究センターが、独自の分野の内容を盛り込んだ研究報告を出版している。表8.6.1は各部門が発行している出版物をまとめたものである。以下は同表からの抜粋である。

表 8.6.1 定期出版物

出版物	出版頻度	出版部数
総合防災研究報告	1回/年	1~200
IMDR-DPRI Booklet (総合防災ブックレット)	不定期	100
国際地すべりニュースレター Landslide News ISSN 0919-5629 (1987~)	1回/年	4,250
国際地すべりニュースレター Landslide News 和訳版 ISSN 1341-9307 (1987~)	1回/年	2,600
日本地すべり学会関西支部シン ポジウム論文集 ISBN 4-9900618-9-6 (1983~)	1回/年	500
日本地すべり学会関西支部現 地討論会資料集 ISBN 4-9900618-8-8 (1983~)	1回/年	500
日本地すべり学会関西支部機 関誌「らんどすらいど」 (1983~)	1回/年	700
地震予知研究センター 研究成果集	1回/年	400
集中総合観測報告書	(1回/ 数年)	4~500
水資源研究センター報告	1回/年	400 (22号)
水資源セミナー講演概要集	1回/年	
Technical Report DRS	2~3回/年	2~300
メモリアル・コンファレン ス・イン・神戸報告書	1回/年	500
大規模災害対策セミナー報告 書	1回/年	2,000
東海・東南海・南海地震津波 研究会報告書	1回/年	500
比較防災学ワークショップブ ロシーディングズ	1回/年	550

総合防災研究部門は年1回「総合防災研究報告」を出版している。内容は、同部門に在籍した学生の卒業論文、修士論文をベースに研究をまとめたもので、所内はもとより、防災研究に関連する研究者や研究機関に配布されている。

地盤災害研究部門は、(社)日本地すべり学会との連携で国際地すべりニュースレター「Landslide News」(和文・英文)を1987年以来年1回発行している。3色刷りA4国際版、40ないし44ページの体裁で、現在までに13号を数え、また、約1000部を海外の主要な地すべり研究機関、研究者に配布している。なお、この編集・出版については、国連教育科学文化機関(UNESCO)、国連・国際防災戦略事務局(ISDR)、国連食糧農業機関(FAO)、国際地盤工学会地すべり技術委員会(ISSMGE/TC-11)をはじめ、国内外の学協会、企業からの支援を受けている。また、「日本地すべり学会関西支部シンポジウム論文集」、「日本地すべり学会関西支部現地討論会資料集」、日本地すべり学会関西支部機関誌「らんどすらいど」を年1回発行している。

地震予知研究部門では、年1回「地震予知研究センター研究成果集」を発行している。内容は、地震予知研究センター構成員がその年度に発表した研究成果(主に論文別刷り)をまとめたものである。

火山活動研究部門では、火山噴火予知計画に基づく全国共同観測研究を、南九州で実施した場合にそのつど「集中総合観測報告書」を出版している。昭和50年からの実績は、桜島(9回)、諏訪の瀬島(3回)、薩摩硫黄島・口永良部島(1回)となっている。報告書は大学・学校、学会、関係省庁・自治体、図書館、防災関係機関等へ配布されている。

水資源研究センターでは、同センターのスタッフの1年間の研究内容や研究活動をまとめた「水資源研究センター報告」を毎年4月に発行している(今年度で第22号)。プロジェクト研究報告、国際会議報告、海外調査報告、研究集会報告、英文発表研究成果集、研究業績リスト、センター運営組織等で構成されている。また「水資源セミナー講演概要集」は、毎年同センターが主催となって開催している「水

資源セミナー」の講演者の発表内容をまとめたものである。水資源セミナーの扱うテーマは広く水資源に関わるものであり、毎年ある程度テーマを絞って発表者を公募する。概要集はセミナー時に参加者に配布される。

巨大災害研究部門では、「大規模災害対策セミナー報告書」を年1回発行している。このセミナーは、阪神・淡路大震災よりさらに大きな災害が発生した場合に、それへの対応を円滑にするにはどのような準備や危機管理をすべきかを多くの関係者に知ってもらうことを目的として、毎年開催するものである。特に、災害に強い地域づくりが緊急の課題であり、そのような観点を踏まえ、毎年、テーマを変えてセミナーを実施し、その成果を要約したものである。

その他「Technical Report DRS」、「メモリアル・コンファレンス・イン・神戸報告書」、「東海・東南海・南海地震津波研究会報告書」、「比較防災学ワークショッププロシーディングズ」を発行している。

マスメディアを通じての活動

表 8.6.2 は防災研究所職員がマスメディアに対して出演、寄稿、情報提供を行ったものをまとめたものである(16人、49件)。内容は地震、耐震構造、津波、地下街の浸水、強風、遺跡の崩壊など多岐にわたる。この種の活動は、広く一般大衆にアピールする手段として重要である。また今後はこうしたメディアに積極的に働きかけ、研究成果を広く公表することが求められるであろう。

表 8.6.2 マスメディア

講演・出演者	その他の講演者 出演者	メディア名(新聞・雑誌・放送名など)	日付
林 康裕		MBS ラジオ「ネットワーク 1.17」地震相談「建物編」	平成 13 年 12 月 15 日
林 康裕		MBS ラジオ「ネットワーク 1.17」地震に強いマンション 弱いマンション	平成 14 年 3 月 16 日
林 康裕		MBS ラジオ「ネットワーク 1.17」免震マンションって何?	平成 14 年 8 月 31 日
入倉孝次郎		毎日放送ラジオ	
入倉孝次郎		NHK	
入倉孝次郎		毎日新聞「地震の揺れる「公式」を探せ」	平成 12 年 9 月 1 日
入倉孝次郎		朝日新聞「断層帯の地震試算松本市は阪神以上」	平成 13 年 3 月 22 日
入倉孝次郎		信濃毎日新聞「糸魚川-静岡構造線の地震」	平成 13 年 3 月 23 日
入倉孝次郎		信濃毎日新聞「松本の揺れ「阪神」上回る可能性」	平成 13 年 3 月 23 日
入倉孝次郎		朝日新聞「芸予地震 表層地盤で揺れが増幅」	平成 13 年 4 月 4 日
入倉孝次郎		朝日新聞「超高層は安全か 5 巨大地震」	平成 13 年 12 月 19 日
佐々恭二		読売新聞「空中都市崩壊の危機 世界遺産インカのマチュピチュ遺跡 京大調査 ペルー・ユネスコ、地滑り防止策検討」	平成 13 年 2 月 24 日
佐々恭二		読売新聞 web(読売 OnLine)「インカ「空中都市」が崩壊危機」	平成 13 年 2 月 24 日
佐々恭二		New Scientist web「Slip sliding away」	平成 13 年 5 月 11 日
佐々恭二		BBC News web「Machu Picchu 'in danger of collapse」	平成 13 年 3 月 7 日
佐々恭二		CNN.com「Peru seeks to calm fears of Machu Picchu collapse」	平成 13 年 3 月 9 日
佐々恭二		CNN.co.jp、「マチュピチュ遺跡崩壊説を否定」	平成 13 年 3 月 10 日
佐々恭二		New Scientist web,「Slip sliding away」	平成 13 年 5 月 11 日
佐々恭二		ASCE「Civil Engineering」(newsletter)「Landslides may threaten Machu Picchu」	平成 13 年 5 月号
佐々恭二		UNESCO「World Heritage」(magazine), No. 20, 「Rumbles about Machu Picchu」	平成 13 年

講演・出演者	その他の講演者 出演者	メディア名(新聞・雑誌・放送名など)	日付
佐々恭二		産経新聞「地滑りで危険 文化遺産保護 京大防災研など 専門機関設立」	平成14年1月23日
佐々恭二		読売新聞(ICLについて)	平成14年1月23日
Roy C, Sidle		TV stations and newspapers in SE Asia 「management activities in rainforests」	
Roy C, Sidle		TV stations and newspapers in SE Asia 「regional hot springs」	
Roy C, Sidle		TV stations and newspapers in SE Asia 「possible links to a controlled release of water from the Kranji Reservoir and the drowning deaths of two children and one adult along the north coast of Singapore」	
高橋 保		NHK「週間テレビニュース」	平成12年8月12日
井上和也		NHK「河川公園施設の治水安全性」	平成14年7月
井上和也		NHK「洪水時のポンプ運転」	平成14年7月
井上和也		朝日新聞「地下街の浸水」・情報提供	平成14年9月
井上和也		京都放送「地下街の浸水」	平成14年10月
間瀬 肇		読売テレビ「ニューススクランブル」津波実験1	平成13年6月22日
石川裕彦		読売新聞	平成12年8月17日
石川裕彦		京都新聞コラム「答えますー科学のなぞ」	平成13年3月4日
石川裕彦		日本テレビ「所さんの目が点」・取材協力	平成13年3月4日
石川裕彦		読売新聞科学面・取材協力	平成13年10月3日
石川裕彦		テレビ大阪20周年記念スペシャル・取材協力	平成14年10月
石川裕彦		日本テレビ「報道、バンキシャ」・取材協力	平成14年11月17日
丸山 敬		日本テレビ「特命リサーチ200X」強風による建物の被害	平成13年1月
丸山 敬		NHK北海道支局「NHKニュース」竜巻のビデオの意 義について・コメント	平成13年11月8日
関口秀雄		毎日テレビ・護岸背面砂浜における吸出し現象・インタ ビュー出演	平成14年1月4日
澤田豊明		読売新聞「トゥモロー」	平成12年4月16日
澤田豊明		朝日新聞「元気あそぶ」	平成13年4月12日
澤田豊明		ABC系全国ネット「たけしの万物創世記」、テーマ「聞 こえない音」・資料提供	平成12年6月6日
山下隆男		韓国MBCテレビ・韓国海岸の保全に関する取材協力	平成13年度 韓国にて 放映(15分番組10回、 全国放送)
橋本 学	亀田弘之	FMうじ・防災特別番組	平成13年9月1日
渡辺邦彦		山陰放送「余震活動は今後どうなるか他」	平成12年11月8日
渡辺邦彦		日本海新聞「続・山陰の地震」毎月1回連載 (約1600字+震央分布図)	平成12年9月～継続中
石原和弘		朝日新聞(鹿児島支局)寄稿	平成13年11月23日、 30日、12月7日
河田恵昭		朝日新聞社「阪神大震災6年フォーラム」朝日21スクエ ア・神戸朝日ホール	平成13年1月12日